肺がん患者が作る！トコトン患者応援マガジン

肺がんBOOK

VOL.11

巻頭特集

がんとともに“わたし”を生きる



丸尾真由子さん



大島直也さん



マンガ

白衣の向こうの物語
～がん看護専門看護師～





肺がん患者さん・家族の
『わたしのホッとアイテム＃３』

日本全国 肺がん患者会マップ



北海道
① 北海道肺がん患者と家族の会

秋田
② 秋田県肺がんネットワーク「あけびの会」

富山
③ 富山肺がん患者会ふたば

福井
④ 福井肺がん患者会

岡山
⑤ 肺がん患者会ライオンハート岡山

山陰地区
⑥ 肺がんカフェ SUNIN

広島
⑦ ライオンハート広島

福岡
⑧ ふくおか肺がん患者・家族の会「コスモス」

神奈川・東京
⑨ 肺がん患者の会 ワンステップ

東海地区
⑩ 肺がん患者会 ワンステップしゃちほこ

滋賀
⑪ 滋賀肺がん患者会 肺ゆう会〜しが〜

三重
⑫ 三重肺がん患者の会

奈良
⑬ 肺がん患者会 肺ゆう会〜奈良〜

大阪
⑭ 肺がん患者会 Hi! フレンズ

香川
⑮ 肺がん患者サロン なでしこ

鹿児島
⑯ 鹿児島県肺がん患者会

全国
⑰ 肺がんサロン ALK 会
⑱ ROS1ポジティブ♪
⑲ 肺がん HER2「HER HER」

各患者会では、定期的におしゃべり会・勉強会を行っています。ぜひ一度、お近くの患者会にご参加ください！

\\ Pick up! //

患者会

⑩ 肺がん患者会 ワンステップしゃちほこ（東海地区）

地元の多くの先生が私たちに寄り添ってくださっています。先生と気楽に話しながら学びませんか？　一人で悩まず同じ患者仲間とおしゃべりしましょう。



代表 野村 由利夫
患者会 オンライン又は対面で年3〜5回
✉ onestep_shachihoko@yahoo.co.jp
URL https://onestep-shachihoko2.amebaownd.com/

⑲ 肺がん HER2「HER HER」（全国）

治療と共に、仲間と共に、社会と共に、の3つの「共に」をテーマに治療や臨床試験の情報共有やオンライン交流を通して、患者やご家族に寄り添った肺がんの HER2 遺伝子異常に特化した患者会です。

肺がん HER2
HER HER

代表 清水 佳佑
患者会 オンラインおしゃべり会　不定期
✉ her2herher@gmail.com
URL https://herher.localinfo.jp/

② **秋田県肺がんネットワーク「あけびの会」**
✉ fumi3419@ymobile.ne.jp
ⓕ www.facebook.com/akita.akebinokai

③ **富山肺がん患者会ふたば**
✉ futaba_haigan@yahoo.co.jp
URL https://futaba-haigan.amebaownd.com/
ⓕ www.facebook.com/toyama.haigan.futaba/

④ **福井肺がん患者会**
✉ sumako-kei@nx.ttn.ne.jp

⑤ **肺がん患者会 ライオンハート岡山**
TEL 086-235-2015（OPEN 11 時）
✉ lionheartokayama@yahoo.co.jp

⑥ **肺がんカフェ SUNIN（山陰地区）**
✉ higankafesunin@gmail.com

⑧ **ふくおか肺がん患者・家族の会「コスモス」**
✉ cosumosuflc@gmail.com
URL https://cosmos-flc.jimdofree.com/
ブログ https://ameblo.jp/0928kata

⑨ **特定非営利活動法人**
肺がん患者の会ワンステップ（東京・神奈川）
URL https://www.lung-onestep.com
ブログ https://ameblo.jp/hbksakuemon/
YouTube https://www.youtube.com/channel/UCXRypqMd5fvow0Tdhqjx5SQ/feed

⑪ **滋賀肺がん患者会 肺ゆう会〜しが〜**
✉ haiyukaisiga@gmail.com

⑫ **三重肺がん患者の会**
✉ mie.haigan@gmail.com
URL http://www.ma.mctv.ne.jp/~kohji-o/

⑬ **肺がん患者会　肺ゆう会〜奈良〜**
✉ nagi_nara@zeus.eonet.ne.jp

⑭ **肺がん患者会 Hi! フレンズ（大阪）**
✉ 2019.hi.friends@gmail.com
URL https://ameblo.jp/hifriends-2019/

⑮ **肺がん患者サロン なでしこ（香川）**
✉ info.nadeshiko5@gmail.com
URL https://lc-nadeshiko.jp

⑯ **鹿児島県肺がん患者会**
✉ bogey203@gmail.com

⑰ **肺がんサロン ALK 会（全国）**
✉ lcsaron.alk@gmail.com
ブログ https://ameblo.jp/lcsaron-alk/

⑱ **ROS1ポジティブ♪（全国）**
✉ meweros1positive@gmail.com
URL https://kepasahiro.wixsite.com/ros1

日本肺がん患者連絡会に加盟している患者会を記載しています。

① 北海道肺がん患者と家族の会

北海道肺がん患者と家族の会では、患者さんやご家族、医療従事者が気軽に集える交流会と、病気や治療を学べるミニ講座を開催しています。どうぞお気軽にご参加ください。

代表 内山 浩美
患者会 交流会 対面・オンライン 年 12 回
✉ hokkaido.lung.cancer.patient@gmail.com
URL https://lungcancer81.amebaownd.com/

⑦ ライオンハート広島

肺がん患者やその家族同士が共に励ましあい、共に闘う仲間を作ることを目的にしています。



代表 小松 裕子
患者会 年4回（1・4・7・10 月）
第三日曜日 13 時から対面患者会を実施
✉ lion.hiroshima@gmail.com

肺がん患者が作る！トコトン患者応援マガジン

肺がんBOOK

肺がん患者が作る!
トコトン患者応援マガジン
肺がん BOOK
Vol. 11

Contents

日本全国 肺がん患者会マップ　2

患者会って、どんなトコ?　4

巻頭特集
がんとともに
“わたし”を生きる

「今、生きている。まだまだ人生を歩んでいける」
丸尾真由子さん（51歳）　5

「大好きな仕事を続けるために」
大島直也さん（40歳）　9

いきる「みかた」を見つける肺がんマンガシリーズ
白衣の向こうの物語
～がん看護専門看護師～　13

マンガ動画の裏側（ウラガワ）
『白衣の向こうの物語 ～がん看護専門看護師～』のモデルとなった
看護師 浜谷千枝子さん
& 奥出有香子さん
対談インタビュー　39

肺がん患者さんに聞いた
看護師さんとの思い出エピソード　42

肺がん患者さん・家族の
『 わたしのホッとアイテム＃３ 』　43



患者会って、どんなトコ?

心のうちを話し、経験者ならではの情報を得られる場

患者会は文字通り、患者さんや家族のための会。でも具体的にどんなところなのか、知っていますか?

患者会は、〝同じ道を通ってきた人たちの集まり〟です。経験者ならではの情報を得たり、誰にも言えない心のうちを話したり。そんなことができるのが、患者会です。

私たちは、ある日突然「患者」になります。何もかもが初めてで、ほとんどの人は大きな不安を抱えるもの。命のこと、治療のこと、生活のこと、家族のこと、お金のこと……。「誰も私の気持ちは分からない」と、強い孤独を感じてしまうかもしれません。

そんなとき、同じ道を歩く人と出会えたら、ちょっと心強くないでしょうか。同じ立場だからこそ理解し合える心情はあるものです。

そのほかにも、患者会にはさまざまな利点があります。例えば「情報」。病院で聞く説明や、医療機関が発信するものとは違う、〝経験者にしかわからない情報〟です。

「副作用が出たときの生活の工夫」「医師との付き合い方」「親の病気を子供へどう伝えるか」など、経験から編み出された知恵を直接聞くこともできるでしょう。

多くの患者会では、定期的に「おしゃべり会」を開催しているため、気軽にのぞいてみてはいかがでしょうか。メールや電話などで個別に相談にのってくれるところもあります。

また、会によっては、医師やいろいろな分野の専門家を招いてセミナーを開催しています。最新の医療や生活に役立つ情報を学ぶ場として活用するのもおすすめです。



巻頭特集

がんとともに“わたし”を生きる

「今、生きている。まだまだ人生を歩んでいける」

丸尾真由子（まるおまゆこ）さん（51歳）

大切にしたいものは人それぞれ。たくさんの困難に直面しながらも、丸尾さんが見つめてきたのは「日々、さまざまな経験をしながら生きる」という人生のあり方でした。

※この記事の内容は、2026年6月当時のものです。

健康診断の帰り道、病院から電話が……

――自己紹介をお願いします。

福岡県福岡市在住です。現在、肺がんステージ4で、治療を受けています。家族は夫と、大学生の娘1人に高校生の息子が2人。そして犬が2匹です。うち1匹は保護犬カフェから迎えました。

――がんはどのように見つかりましたか。

毎年、健康診断を受けていたのですが、帰る道すがら病院から電話がかかってきました。「ちょっと戻ってきてください」と。

戻ると「肺のレントゲンに影がある」と言われ、大きな病院を受診しました。診断は、初期の肺がんとのことでした。

――そのときのお気持ちは。

医師から「手術で治療できる」と聞き、「取れば治るのね」くらいに考えていました。当時、私は39歳。まだ子供も小さく、早く家事をしないと、という焦りもあって考える暇もなく治療に入りました。



2匹の愛犬と。私にとって大きな癒しであり、元気をもらえる存在です。

治療・活動歴

2015年1月（39歳）	健康診断で肺がんが見つかる 開胸手術で治療
2022年3月（46歳）	頭痛で受診し、脳に腫瘍が見つかる 開頭手術で治療　肺がんの脳転移と判明 肺がんステージ4と診断　ALK遺伝子変異陽性
2022年10月（47歳）	脳転移が再発 1stライン　分子標的薬で治療
2023年8月（48歳）	2ndライン　分子標的薬で治療
2025年3月（49歳）	脳転移に放射線治療　分子標的薬を継続



肺の手術後に家族でお出かけしたときの一枚。告知のとき、まだ幼かった子供たち。
長男の幼稚園卒園式には何とか出席できました。

――不安はありませんでしたか。

ちょっと不安ではありました。肺がんについて検索すると、いろいろなことが書かれていたので。でも忙しさに追われ、それどころではありませんでした。

――術後は順調でしたか。

実は、私の母も肺がんの手術を受けたことがあるんです。でも母は、比較的小さな傷で手術ができる胸腔鏡手術だったんですよね。私は開胸手術だったので、傷の大きさが違うことに驚きました。どちらも肺がんで同じくらいの進行度でも、治療法はさまざまなのだなと思いました。

8年後に見つかった「脳転移」

――その後、脳腫瘍が見つかったそうですが、その経緯を教えてください。

手術から8年後、激しい頭痛に襲われるようになりました。でも肺がんが関係しているとは思わず、年齢的に更年期の症状かと婦人科を受診したり、副鼻腔炎を疑って耳鼻科に行ってみたり。いずれの病院でも原因は分からないままでした。

ところが次第に、言語障害が出るようになったんです。夫から脳神経外科に行くことを勧められて受診したところ、脳に大きな腫瘍があることが分かりました。

――その間、生活にどんな影響がありましたか。

市販の頭痛薬が効いている間は痛みが抑えられたので、仕事を続けていました。でも言語障害は困りましたね。話す仕事をしていたのに、言葉が出てこないのです。例えば「ハサミ」と言いたくても、どんな物か認識できるのに「ハサミ」という単語が口に出せない。実物を持ってきて「コレ」と伝えるような状態でした。

――どのような治療をしましたか。

開頭手術で腫瘍を摘出することになりました。手術前、言語聴覚士さん（※1）がやって来て、言葉の状態を確認するために「ここに書いてあることを読んでください」と本を差し出しました。それが全然読めなくて。意味は分かるけど読めないことが本当に悲しくなり、涙が出ました。

（※1）「話す」「聞く」「食べる」ことに困難がある人を支援する専門職

――術後の状態はどうでしたか。

術後、今度は言語聴覚士さんがペンを持ってやって来て、「これは何ですか？」と私に見せました。「ボールペンです」と答えると「ちゃんと話せている。よかったですね」とのこと。どうやら、麻痺が残る可能性があったようです。

――脳腫瘍は、肺がんの転移だったのでしょうか。

当初は転移ではなく、「脳にできた腫瘍」という診断でした。摘出した組織を検査したところ、肺がんからの転移だと分かりました。肺から離れたところへの転移のため、ステージ4とのことでした。

――転移と知ったときのお気持ちは。

肺がんの手術後、肺の経過観察を続けていました。肺にあったがんは、もう無いはず。それなのに、どうやって脳まで飛んだの？という疑問が湧きました。医師にたずねると「肺から飛んだがん細胞が血液の中を漂っていて、それが脳にたどり着いたのだろう」とのことでした。

今回の脳腫瘍は取ったけれど、いつまた現れるかと思うと不安で……。「これから普通に生きていけるのだろうか」と怖くなりました。

――不安に対し、医師は何と答えてくれましたか。

転移だと分かったとき、遺伝子検査もしていたんです。その結果、ALK（アルク）という遺伝子に変異があるタイプの肺がん（ALK遺伝子変異陽性）だと分かりました。

主治医は「今は体も動かせているし、ALK陽性に効く薬もある。前向きにがんばりましょう」と言ってくれたと思います。脳腫瘍の影響か、手術前後のことはハッキリと覚えていないのですが。

――最初に肺がんが見つかったとき、転移が分かったとき、ご家族にはどのように伝えましたか。

夫は、大きな決断が必要なときはいつも付き添ってくれていたので、一緒に医師の話を聞いていました。子供たちには、最初のときは伝えませんでした。まだ幼かったのと、そんなに深刻なレベルではなかったので。でも脳腫瘍の際は長女も高校生になっていましたから、話すことにしました。

――そのときの、お子さんの様子はいかがでしたか。

意外と前向きにとらえてくれたようです。お見舞いに来て頭の手術痕を見たときは「すごい！」と声をあげていましたが、ひとまず生きていて、大丈夫と思ったみたいですね。



脳腫瘍の手術直後。言語聴覚士さんとの会話で話せることを実感し、とても安心したことを覚えています。

再び脳に腫瘍が……薬の副作用は工夫で上手に付き合っていく

――その後の経過はどうでしたか。

脳腫瘍の手術をしたあとは、しばらく経過観察をすることになりました。定期的にＭＲＩ検査をして様子を見ていたんです。ところが再発し、また脳に腫瘍ができてしまいました。

――再発ではどのような治療をしたのでしょうか。

最初の薬物治療（1stライン）として分子標的薬（※2）を使いました。でも10カ月ほどで効かなくなって、脳の腫瘍が再び大きくなってきてしまいました。

（※2）従来の細胞障害性抗がん剤とは異なる薬物治療の一種。がん細胞の増殖などに関わる特定の分子を狙って作用する

――続いての治療（2ndライン）はいかがでしたか。

1つ目とは別の分子標的薬を使うことになりました。脳腫瘍にはよく効いたのですが、副作用でひどくめまいがするようになってしまいました。洗濯しようとするだけでもグラグラと揺れる感覚に襲われ、座り込まずにはいられませんでした。

――副作用にはどのように対処しましたか。

主治医に相談し、薬の量を調整しました。1回4錠で始めた薬を、様子を見ながら1錠ずつ減らしていきました。でもなかなかめまいはなくならず、最終的に1回1錠まで落としました。

――それからの経過はどうですか。

1年7カ月が経ったころ、また脳腫瘍が大きくなってしまって。今度は放射線治療を行いました。さらに医師から、薬を1回2錠に増やすことを提案されました。

しかしやはり心配だったのは、めまい。「薬を飲む時間を変更したい」と相談し、夜に飲むことになりました。もしめまいが起こっても眠っているから大丈夫かな、と。それ以降は起きている間にめまいがすることはなく、現在も服薬を継続しています。

――そのほかに副作用はありますか。

ビリビリとしびれる感覚や、物忘れがあります。主治医によると、この薬でしびれが起こるのは珍しいそう。そのため、リウマチの検査も受けました。しかしリウマチではなかったため、可能性としては薬の影



「ふくおか肺がん患者と家族の会 コスモス」のセミナーで。　コスモスでは年2回、専門家を招いてのセミナーを行っています。

響だろうという結論です。物忘れは、もしかしたら年のせいかもしれません（笑）。

――どのように対処していますか。

ひとまず、しびれを抑える薬で対処しています。物忘れに対しては、スマートフォンを活用していますね。買う物や、明日やるべきことなど、すべてメモするようにしています。



初代の愛犬と子供たち。キャンプや山登りなど、愛犬とともにたくさんの思い出を作りました。

――いずれの副作用も、医師と相談し工夫しながら上手に付き合っているのですね！

まだまだ人生を歩んでいける

――がんになって、つらかったのはどんなことですか。

お金のことですね。子供が小さいころは塾などの教育費もかかりましたし、家計が火の車でした。今、使っている分子標的薬も、けっこうお金がかかるんです。毎月、高額療養費制度（※3）の上限いっぱいまで支払っていて、なかなか大変。できるだけ節約して暮らすようにしています。

（※3）医療費の自己負担額が一定額を超えた場合、超えた分が支給される公的制度

――がんになって気づいたことはありますか。

少し前に、飼っていた犬を看取りました。犬って、一生を見せてくれますよね。子犬のころから最期までを見せてくれる。「命には必ず終わりがある」ということを体現してくれた気がしました。

私は肺がん患者になって、人生には限りがあることを意識するようになりました。だからこそ、「どう生きるか」を大切にしたい。これは私の価値観なのですが、ただ時間を過ごすのではなく、何かを経験しながら生きるのが、私にとっては意味があることだと思っています。例えば、犬がお手をできるようになったとか、成長を見ていくのも楽しいですし。小さなことに幸せを感じながら日々を過ごしています。

――丸尾さんの好きな言葉を教えてください。

「人生、前向き」という言葉です。

――その言葉が好きな理由は何ですか。

時が進むにつれ、物事はどんどん進化していきますよね。昔はポケベルでメッセージを送っていたのに、今はスマートフォンになっている。時代は目覚ましく変わっています。

私は、もしかしたらまたがんが再燃するかもしれない。そんな不安はあるけれど、次々に新しい薬が開発されているのも事実。これから現れる治療法に期待しつつ、どんなことも前を向いて生きていたいと思っています。

――最後に、がんの仲間に向けてメッセージをお願いします。

私が所属している福岡の肺がん患者会には、がんを告知されたばかりの人もやってきます。以前の私もそうだったように、みなさんとても悩んでいます。「どうしたらいいの？」と。「手術をしたくない」「抗がん剤で髪が抜けるのでは」など、頭の中でいろいろな悩みや不安が渦巻いているんです。

そんな思いを抱えている人たちに伝えたいのは、「がんになっても、人生は終わりじゃない」ということです。不安なときは、同じ患者同士で話をして「私たちは、今、生きている。まだまだ人生を歩んでいける」と感じてほしいですし、がんとともに、これからの人生をどう過ごしていくのかを考えられるようになればいいな、と思っています。

取材：長谷川一男
文：木口マリ
写真提供：丸尾真由子さん

丸尾さんのインタビューを動画で見よう！

YouTube

巻頭特集
がんとともに“わたし”を生きる

「大好きな仕事を続けるために」

大島直也（おおしまなおや）さん（40歳）

38歳という若さで肺がんステージ4と診断された大島さん。次にどの治療薬を使っていくかを選ぶ際、大島さんが大切にしたのは「仕事を続けられること」でした。

※この記事の内容は、2025年12月当時のものです。

最初は小さな咳き込みだった

――自己紹介をお願いします。

愛知県の名古屋市在住です。鍼灸師をしています。2年2カ月くらい前に肺腺がんステージ4と診断されました。

――がんはどのように見つかりましたか。

診断の5カ月くらい前から小さく咳き込むようになりました。最初は風邪かと思ったのですがちっとも治らない。だんだん声がしゃがれてきて「何かおかしい」と思い、クリニックを受診しました。でもいくつ病院を回っても原因は不明。レントゲン検査をしても「肺はきれい」とのこと。そのうち誤嚥の症状まで出てくるようになりました。

最終的に、耳鼻咽喉科での検査で「声帯が半分動いていない」と言われました。「反回神経麻痺」になっていたそうです。紹介状をもらい、その足で総合病院へ向かいました。そしてようやく肺がんと診断されました。

――反回神経麻痺とがんは、どのような関係があったのでしょうか。



名古屋のおしゃべり会で撮影。（2026年5月）

治療・活動歴

2023年	のどの不調でクリニックを受診
2023年8月（38歳）	反回神経麻痺と診断され総合病院へ 肺腺がんステージ4と診断 ALK遺伝子変異陽性　脳転移あり
2023年	1stライン　分子標的薬で治療
2024年	2ndライン　分子標的薬で治療、脳転移に放射線治療
2025年	3rdライン　抗がん剤2剤で治療
2025年7月（40歳）	4thライン　分子標的薬で治療、がん遺伝子パネル検査を受ける

反回神経は声帯を動かすための神経なのですが、肺の上の方にあるがんが神経を圧迫したことで麻痺が起こっていたようです。

――がんの告知を受けたときの心境は。

半年近く原因が分からなかったので、正直、ホッとしました。これで治療ができると思って。確定診断が出る前から「限りなく肺がんを疑っている」という医師の話を聞いていたので、ある程度の覚悟もありました。

でもその後、ステージ4ということが分かって……。もう命があまり残されていないのではと、心が深く沈みました。

――30代でがんと言われて驚いたのではないでしょうか。

タバコを吸っていたので、最初は何となく「自分のせいかもしれない」と考えてしまいました。

――大島さんはがんの遺伝子検査でALK（アルク）という遺伝子に変異があることが分かりました。ALK遺伝子変異が陽性の肺がんは、喫煙とあまり関係がないとされていますね。

はい。私も勉強していくうち、そこまで因果関係はないと思うようになりました。

――ご家族にはどのように伝えましたか。

妻に、なるべく早く知らせなきゃと思い、直接話す前にLINEで伝えました。妻は「全力でサポートする」と言ってくれて、だいぶ気持ちが楽になりました。

短期間で変わっていく治療「それでも好きな仕事を続けたい」

――最初の治療（1stライン）では何を選びましたか。

分子標的薬（※1）のうち、ALK陽性の治療に効果が高いとされている薬を使いました。私は鍼灸師の仕事を続けることと、その移動のために車の運転をしたいという意向があったため、手の痺れなどの副作用が少ない薬を選びました。

（※1）従来の細胞障害性抗がん剤とは異なる薬物治療の一種。がん細胞の増殖などに関わる特定の分子を狙って作用する

――治療の効果はありましたか。

最初の3カ月で劇的に効いた印象です。転移したがんが薄くなり、原発のがんも小さくなりました。脳の転移においては、画像上で見えないくらいまでになったんです。また、それまで上大静脈塞栓（心臓へ向かう大静脈が詰まる）や心膜に水が溜まっていた影響でちょっと階段を上るだけで激しく息切れをしていたのですが、その原因だったがんが小さくなったことで徐々に収束していきました。

――この薬は比較的長く効くと言われていますが、大島さんはどのくらいの期間使うことができたのでしょうか。

私の場合は短くて、10カ月くらいで耐性ができてしまいました。脳の転移もまた出てきてしまって……。

――そのときのお気持ちは。

これまでがとても順調でしたし、このままかなり長い期間維持できると期待していたので、正直、診断時よりもショックでしたね。どこかのタイミングで耐性がつくことは想定していたけれど、「今後も同じことが起こるかもしれない。このペースで薬を変えていくのだろうか」と不安



鍼灸師としてご年配の方へ施術中の様子。（2026年1月）

にかられました。「残された時間は本当に短いんじゃないか」と、とてもつらい気持ちになりました。

――続いての治療（2ndライン）は、医師からどのような話がありましたか。

選択肢として、1stラインとは別の分子標的薬を2種類と、細胞障害性抗がん剤の提示がありました。仕事や車の運転を続けられることを優先し、分子標的薬2種類のうち末梢神経障害が出にくい薬を選びました。主治医も私の気持ちを理解していたので、賛成してくれました。

――脳転移の治療はどのようにしましたか。

放射線科の医師も交えて相談したところ「放射線治療は正常な組織にも影響を及ぼすことがある。脳転移はまだ非常に小さいので、今、行うのはもったいないのでは」とのことで、ひとまずはやらない方向でいました。

しかし次第に悪化してくると、そのために薬を変えていって治療の選択肢がなくなることが怖くなったんです。そこでもう一度医師と相談し、2ndラインの薬をできるだけ長く使うために脳への放射線治療を行いました。

――2ndラインの薬はどのくらい続けられましたか。

これもあまり長くなく、8カ月くらいでした。その後の治療（3rdライン）は、抗がん剤治療をすることになりました。

――3ndラインでは、2ndラインで提示されたもう一つの分子標的薬ではなく抗がん剤を選んだ理由を教えてください。

もう少し仕事を続けたいという思いがありました。そこで主治医は、私の仕事に支障のある副作用が比較的少ない種類の薬を提示してくれました。ある抗がん剤2剤の併用だったのですが「ただしALK陽性の肺がんにはあまり効果がないかもしれず、奏効期間も短いだろう」とのこと。それでもとりあえず時間稼ぎがしたいと思いました。

――仕事は続けることができましたか。

仕事は続けられましたが、放射線科の医師から「車の運転はもうしてはいけない」という指示がありました。本当は、脳転移を発症した時点でダメだったようです。運転が好きなのでとても残念でしたが、仕事は公共交通機関を利用して続けました。

――抗がん剤の効き目はどうでしたか。

これが、私には全然効かなくて。実は、昨日から次の治療（4thライン）に入っています。2ndラインで提示されたもう一つの分子標的薬ですね。

――このインタビューは大島さんの入院中に行っています。今回の入院の目的は何ですか。

「副腎と小腸に転移したがんから細胞を採取できそうなので、新たな治療を模索するための『がん遺伝子パネル検査』（※2）を受けませんか」と主治医から提案があり、今はその結果を待っているところです。もしかしたら使える薬は見つからないかもしれませんが、自分に効かない薬を避けるためにもなりますから。

（※2）がん細胞の多数の遺伝子を一度に調べる検査

好きな言葉は「よくばり」と「がんばれ」

――がんになって、つらかったのはどんなことですか。

これまで話してきたように、私は仕事が好きなんです。それを続けられなくなるのでは、というのが最初に感じたつらさでした。でも結果的に治療しながら続けられているの



仕事で大学チームのトレーナーを務める様子。
（2026年6月）

で、とてもありがたいと思っています。

――仕事が続けられると分かったとき、どう思いましたか。

働くことって「何かの役に立っている」という感覚を得られる気がするのです。それができるのは大きな喜びでした。

――がんになって気づいたことはありますか。

ありきたりなんですが、がんになって以降、道端に咲いている花や沈む夕日を眺めることが多くなりました。それまで以上に、心からきれいだと感じるようになったんです。



免疫チェックポイント阻害薬Tシャツを着て治療。（2026年3月）

一つひとつのことに丁寧に目を向けられるようになった、というのでしょうか。話には聞いていましたが、本当にそうなるんだな、と感じました。

――大島さんの好きな言葉を教えてください。

二つあります。「よくばり」と「がんばれ」という言葉です。

――なぜその二つの言葉が好きなのですか。

まず「よくばり」という言葉。私は治療が始まってからというもの「やりたいことを諦めず、できる限り方法を探す」というのをとても大事にするようになりました。

私は普段の仕事のほか障害者支援などの活動もしているのですが、もし「もうできない」と諦めていたら、きっとそこで終わっていたはず。「仕事を続ける」という点にこだわったから、好きなことをやめずにいられたのかもしれないと感じています。もちろん、今後、受け入れなきゃいけないこともいっぱい出てくるはず。でも「可能な限り得たいものを得ていく」というよくばりな気持ちがある方がいいんじゃないかと思っています。

そして「がんばれ」。「がんばれ」は、世間一般に、患者に対して言ってはいけないような風潮がありますよね。そのせいでせっかく応援として言おうとしても、躊躇している人もいるのではと思いました。

そこで周りの人に「私はそう言われるとうれしいので、言ってください」と伝えてみました。するとみんな楽な気持ちで「がんばれ」と言ってくれるようになったんです。それが私の力にもなっていきました。以降、「がんばれ」は好きな言葉です。

――最後に、がんの仲間に向けてメッセージをお願いします。

今は、ＳＮＳでご自身のがん経験を発信するなど、さまざまな活動をしているがん経験者がたくさんいます。みんなとてもキラキラしていますよね。自分もそんなふうになりたいな、と思っています。

でも最近、そのキラキラな様子につらさを感じている人がいると気づきました。もちろん経験を糧に活動されている姿はすばらしいのですが、それを見て、逆に「あの人たちのようにできていない自分はダメなんだ」と落ち込んでしまう人もいます。

でも、無理に何かになろうとしなくてもいいと思うんです。つらさを感じている人たちには「今、がんばっているだけで十分すごい」と伝えたい。「今のままで十分すてきな人だよ」と言ってあげたいです。


がんチャリティー活動「リレー・フォー・ライフ」のグッズを身につけて応援。（2026年1月）

取材：長谷川一男
文：木口マリ
写真提供：大島直也さん

大島直也さんは２０２６年８月に逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

大島さんのインタビューを動画で見よう！

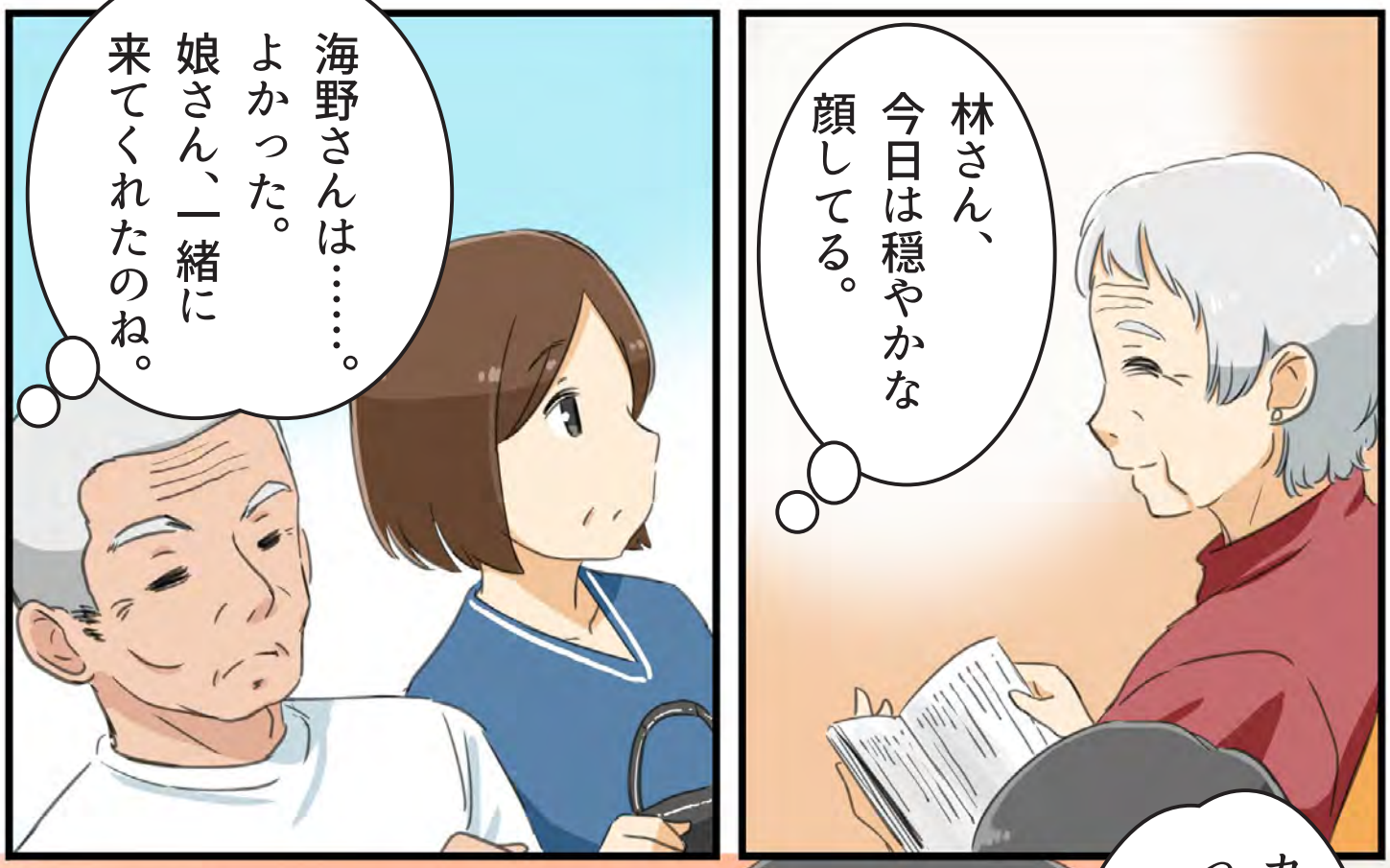
YouTube

白衣の向こうの物語
～がん看護専門看護師～

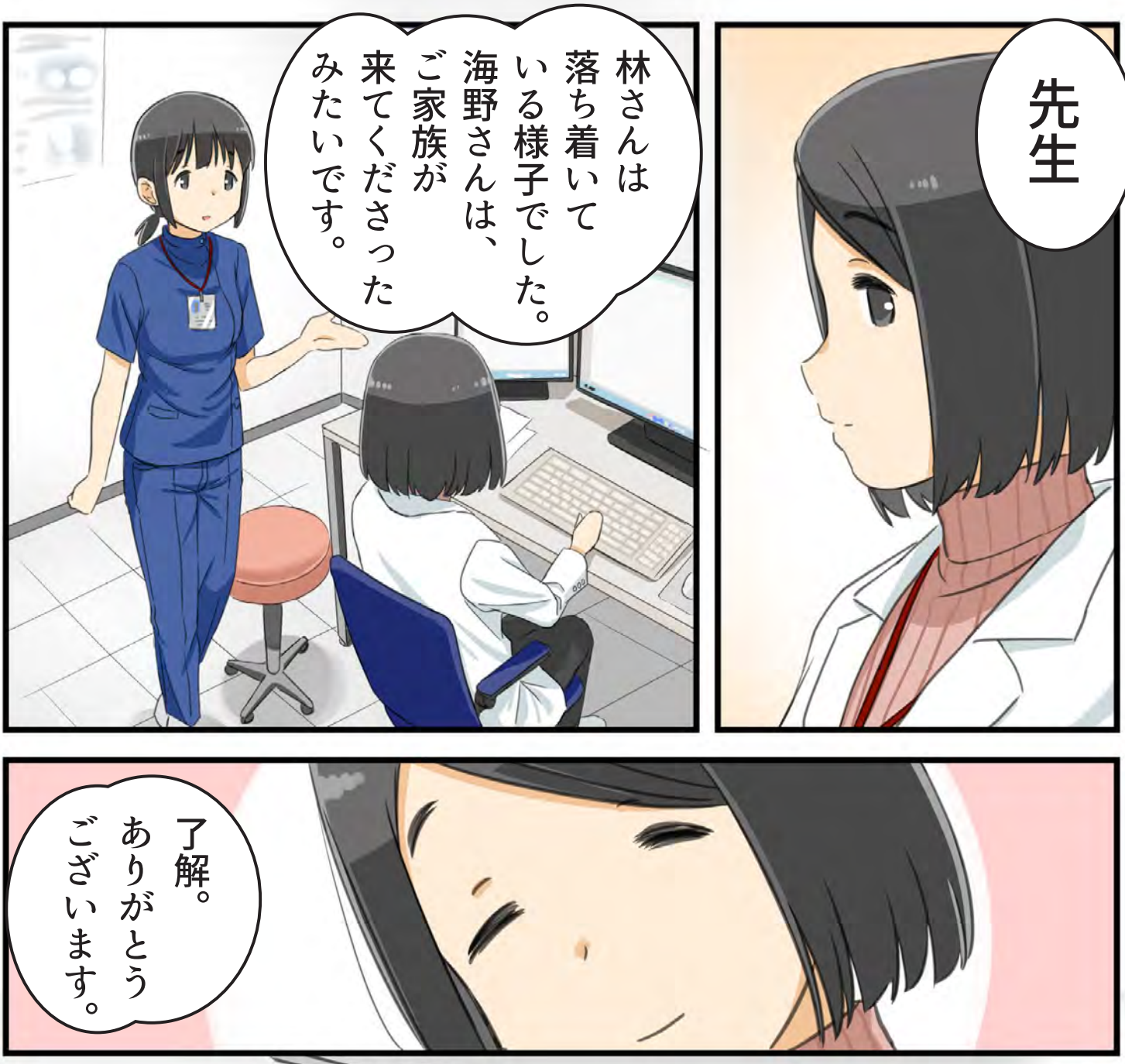


総合監修　NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ
監　　修　浜谷千枝子（社会医療法人財団 白十字会 白十字病院 看護部）
　　奥出有香子（順天堂大学医学部附属練馬病院 がん治療センター 看護師長）
脚　　本　木口マリ
作　　画　れつまる


1
2
□○病院
呼吸器内科


林さん、
今日は穏やかな
顔してる。
海野さんは……。
よかった。
娘さん、一緒に
来てくれたのね。


カルテには「家族と疎遠」
ってあったから、
気になっていたのよね。
ホッ…
診察室
担当医
山ひとみ
私は、浜田（はまだ） 岬（みさき）。
がん看護専門看護師だ。

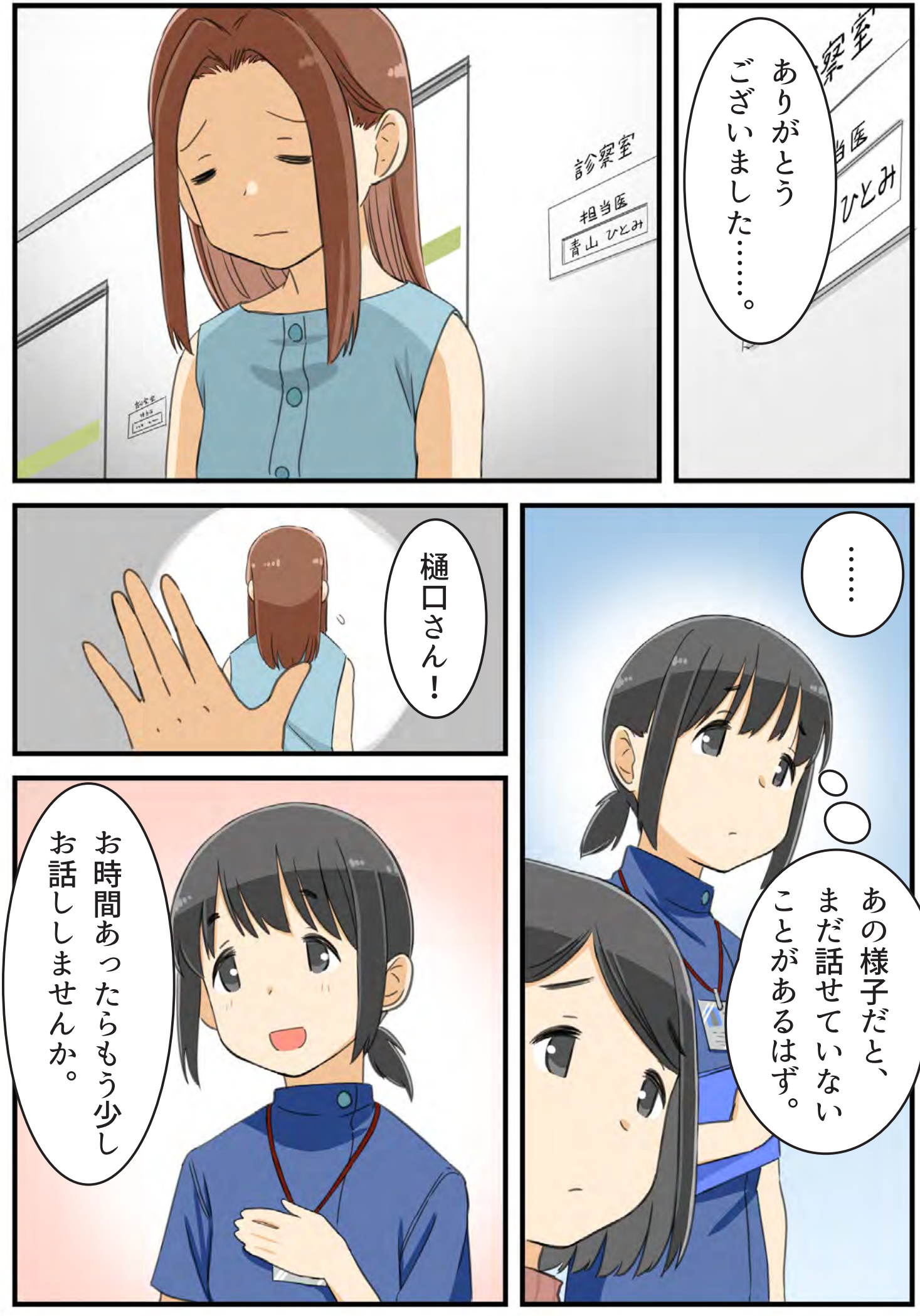


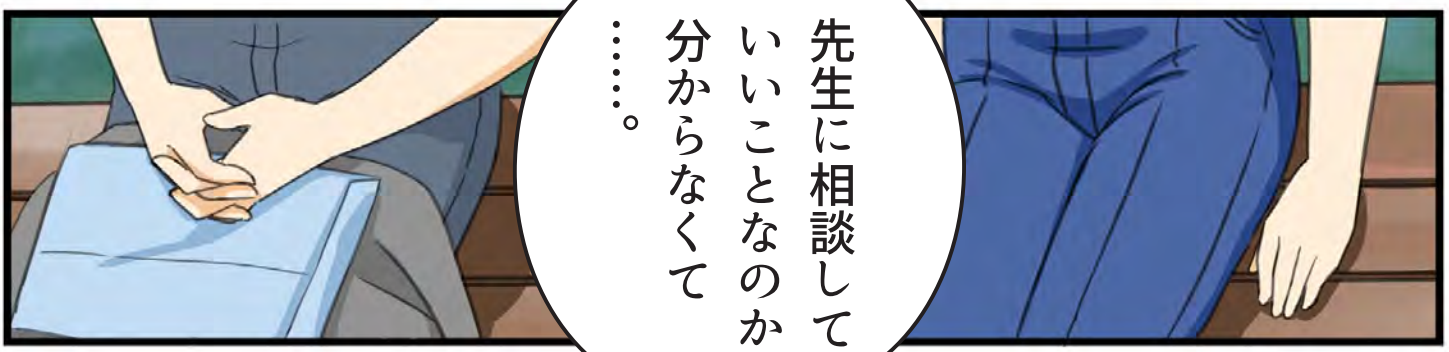
がん看護専門看護師とは、がん医療の高度化に伴い、がん患者と家族の複雑で解決困難な問題に対し、高度な専門知識と技術を用いてケアを提供するための看護師のこと。治療に入る前から、患者さんや家族に関わっていく。

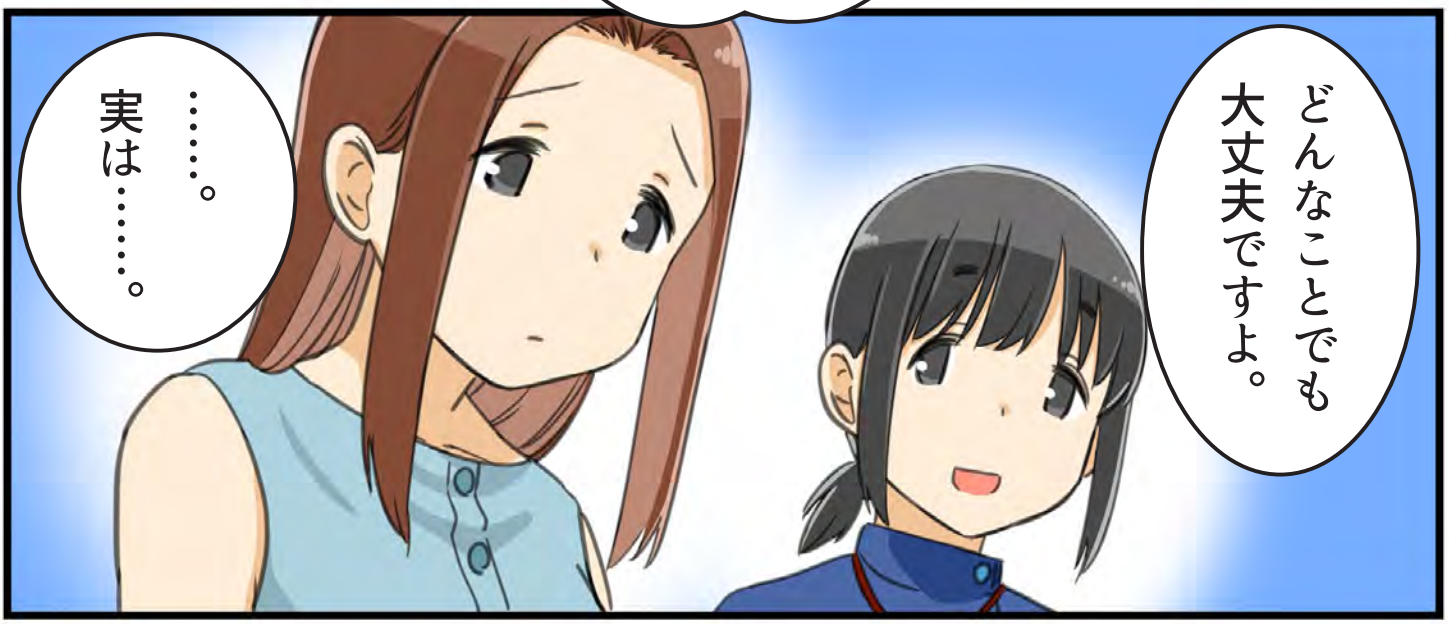

1
樋口恵子さん。
肺がんの疑いがあり、精密検査を受けた。今日、その診断結果を聞きにきていた。
……。

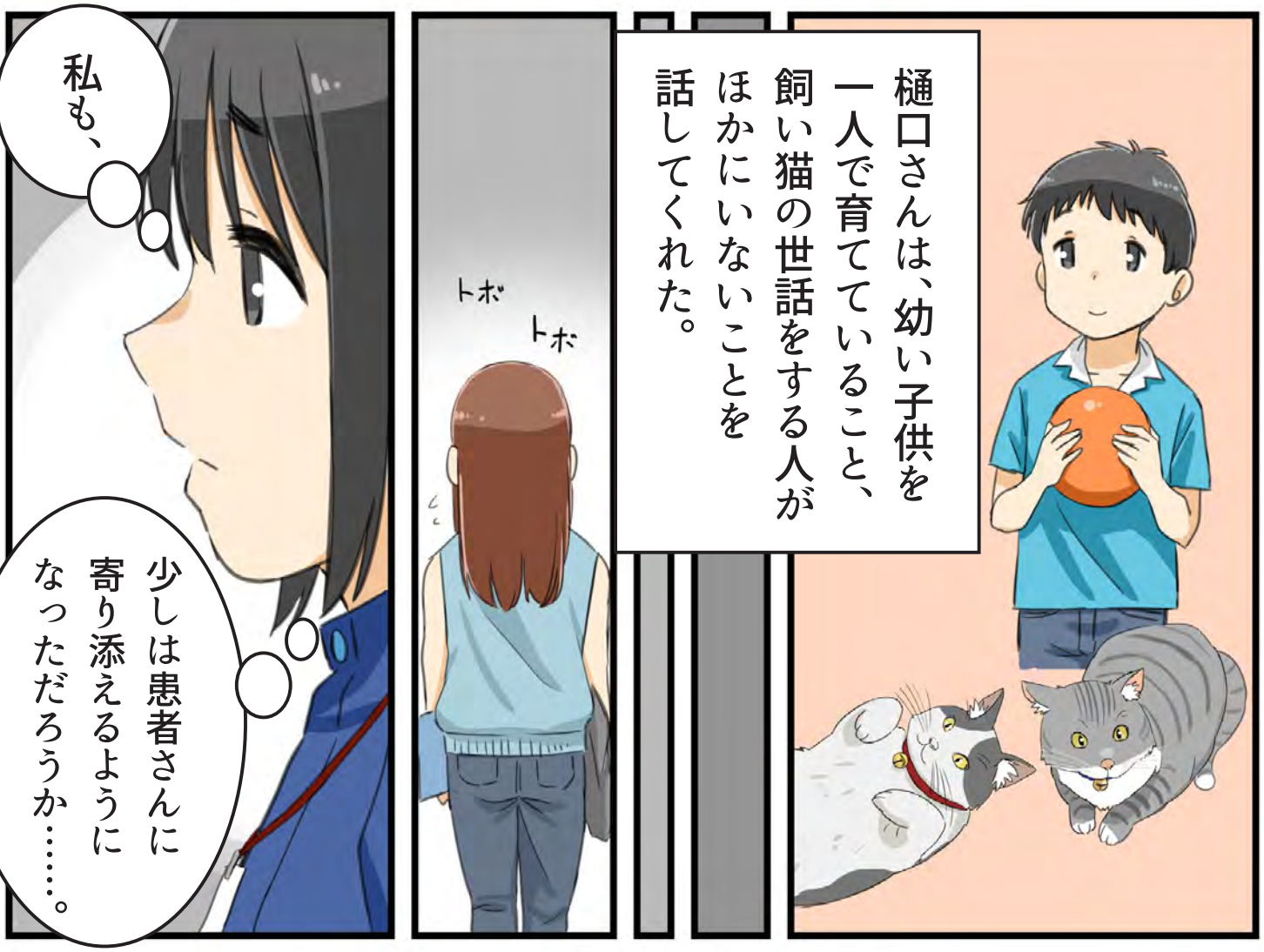

樋口さん、お一人で来られたようです。
不安な様子でしたら、私にもお声がけください。樋口さんの力になりたいと思いますので……。
そっか、樋口さん……。
様子見て、お願いしますね。
悪い知らせを受けたばかりの患者さんは、頭が真っ白になってしまうことも少なくない。


こんにちは。
看護師の浜田です。
そんなときは
一緒に診察室に入る。
気持ちを言葉に
するための
呼び水となる
問いかけをしたり、
決断を急がなくて
いいと思えるように、
医師との間に
入って提案する
こともある。
看護師は、
患者さんの声なき声を
形にできるよう
手助けする、
言わば「代弁者」なのだ。


ありがとう
ございました……。
診察室
担当医
青山 ひとみ
……
あの様子だと、
まだ話せていない
ことがあるはず。
樋口さん！
お時間あったらもう少し
お話ししませんか。

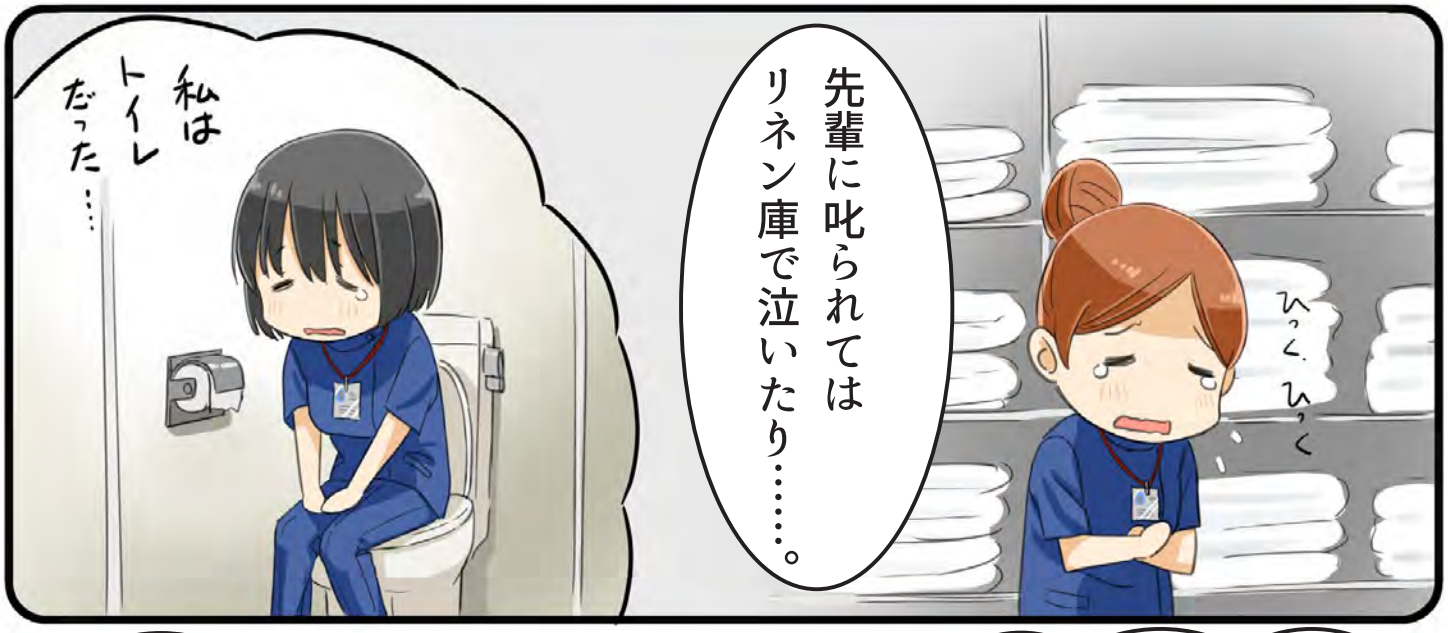

先生に相談していいことなのか分からなくて……。

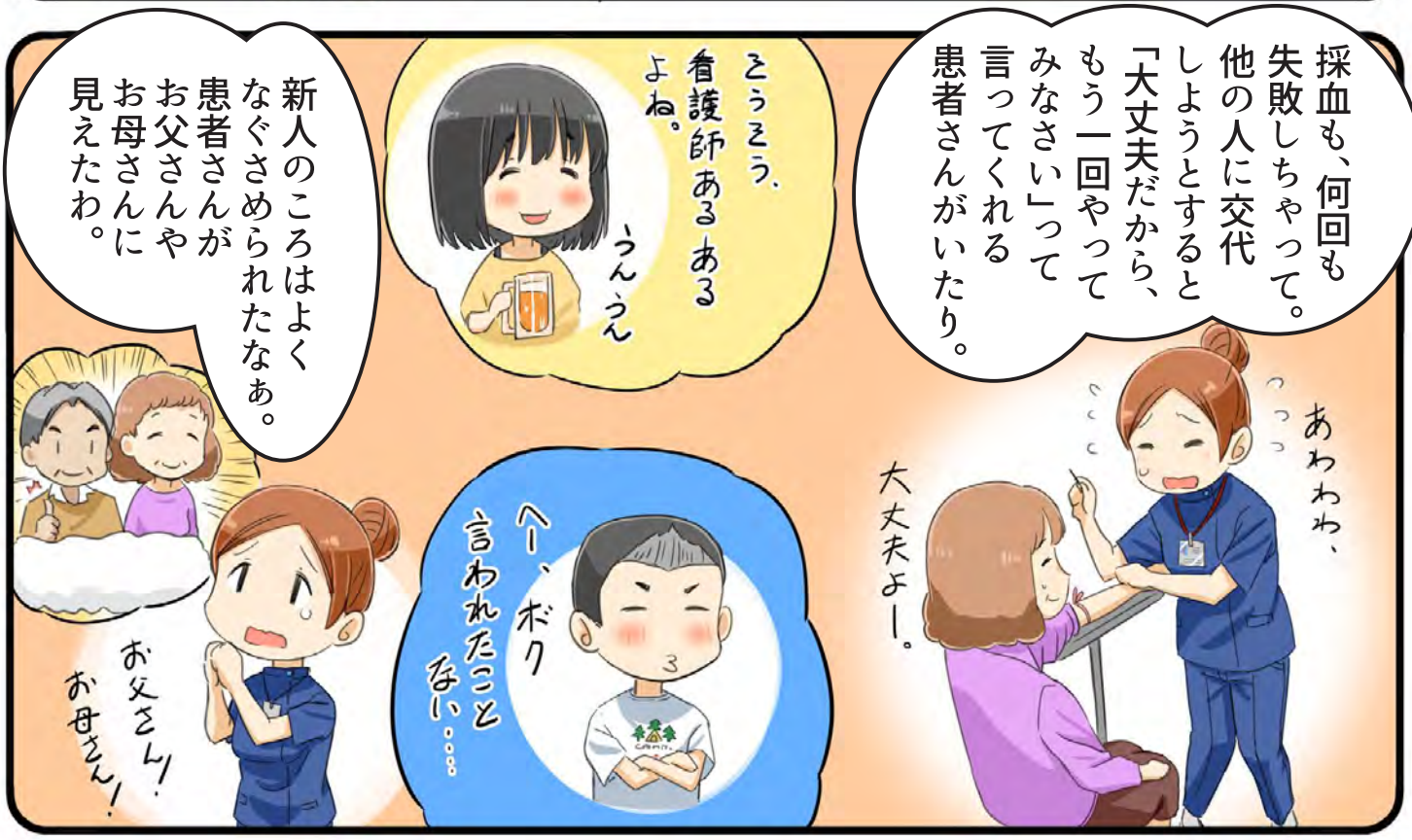

どんなことでも大丈夫ですよ。
……。実は……。


樋口さんは、幼い子供を一人で育てていること、飼い猫の世話をする人がほかにいないことを話してくれた。
トボ
トボ
私も、
少しは患者さんに寄り添えるようになっただろうか……。


やきとり
とり
せんぱ〜い、聞いてくださいよ〜。
今日も主任に怒られちゃいましたよ。
CAMP.
なに？また何かやらかしたの？
またってなんですか〜。
またなんですかぃ…
CAMP.
先輩たち、いっつも完璧じゃないですか。患者さんからも信頼されてるし……。
僕、看護師向いてないのかなぁ……。


なに言ってんの。
最初からうまくできるわけないでしょ。
私たちも昔は失敗しまくってたよね。
ね～
ね～

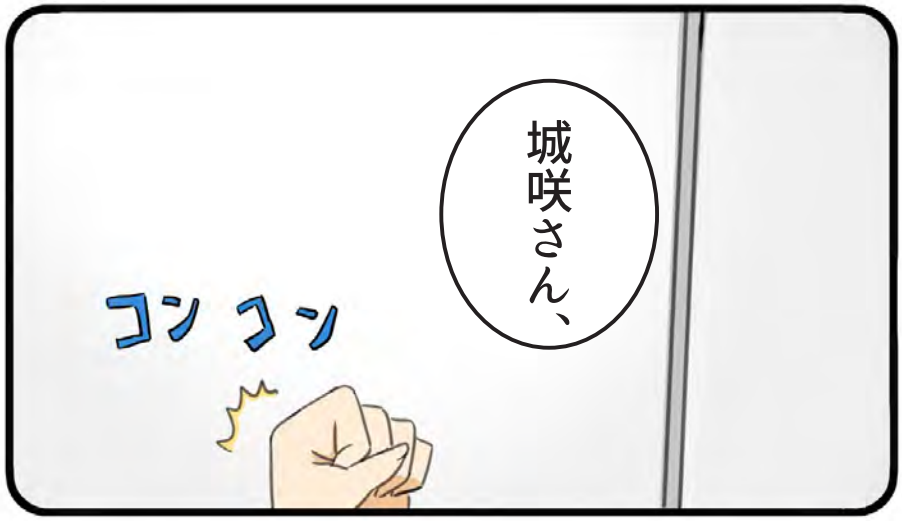

先輩に叱られてはリネン庫で泣いたり……。
ひっく、ひっく
私はトイレだった…


採血も、何回も失敗しちゃって。他の人に交代しようとすると「大丈夫だから、もう一回やってみなさい」って言ってくれる患者さんがいたり。
あわわわ、
大丈夫よー。
そうそう、看護師あるあるよね。
うんうん
へー、ボク言われたことない…
新人のころはよくなぐさめられたなぁ。患者さんがお父さんやお母さんに見えたわ。
お父さん！
お母さん！

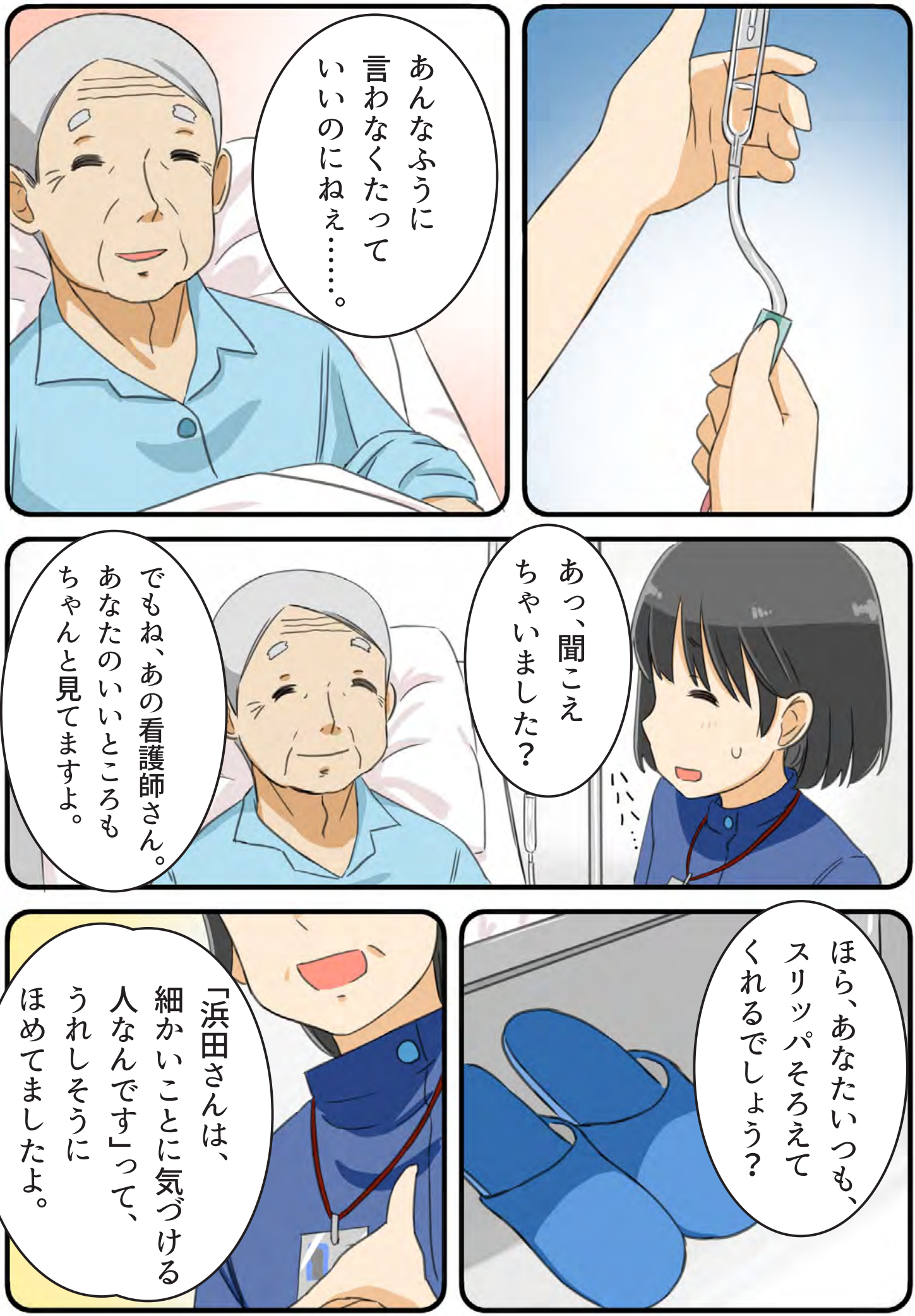

看護師って「支える立場」って思うでしょ。
でもね、私たちは患者さんに育てられて成長していく。支えられてもいるのよ。
だからアンタもがんばりなさい！
わかりましたよ！も～～！
そう、私も患者さんに育てられてきた。
ちょっと浜田さん！何やってんの！

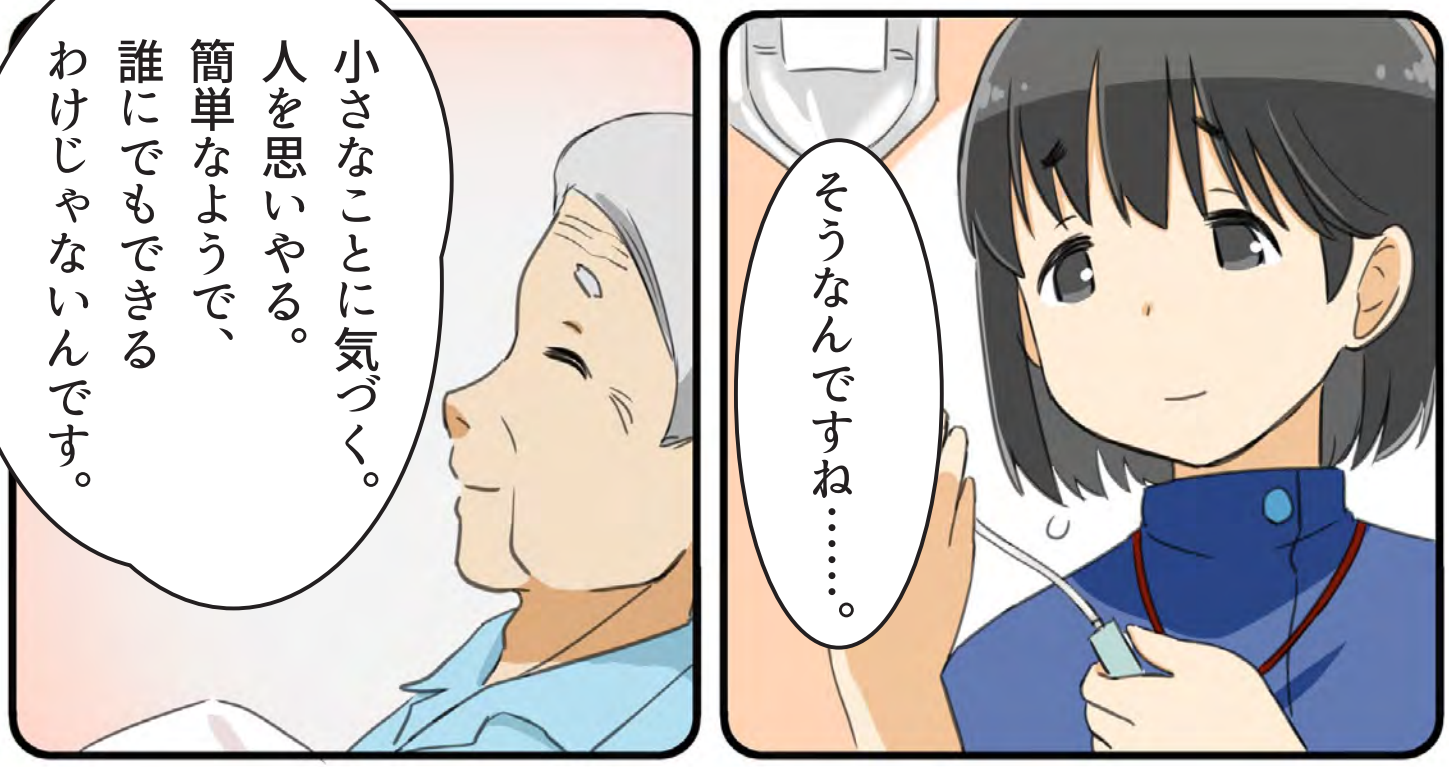

新人のころ、毎日のように
先輩に叱られていた。
いつも自信がなく、
そんな自分が情けなかった。
す…
すみません…
あの患者さんは
介助が必要だって
言ったでしょ！

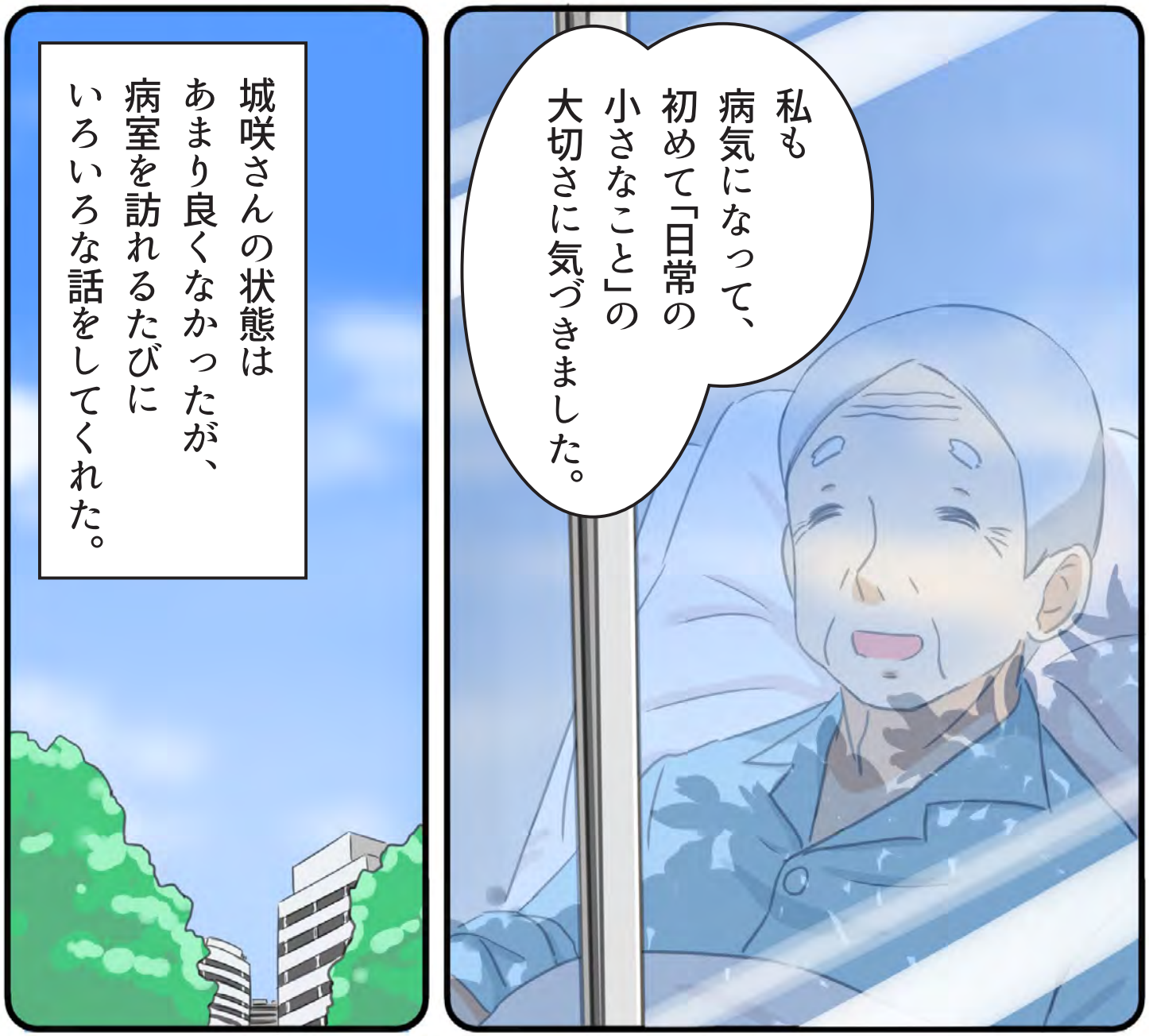

私、いつまで
たってもダメだ
なぁ……。
はぁ…

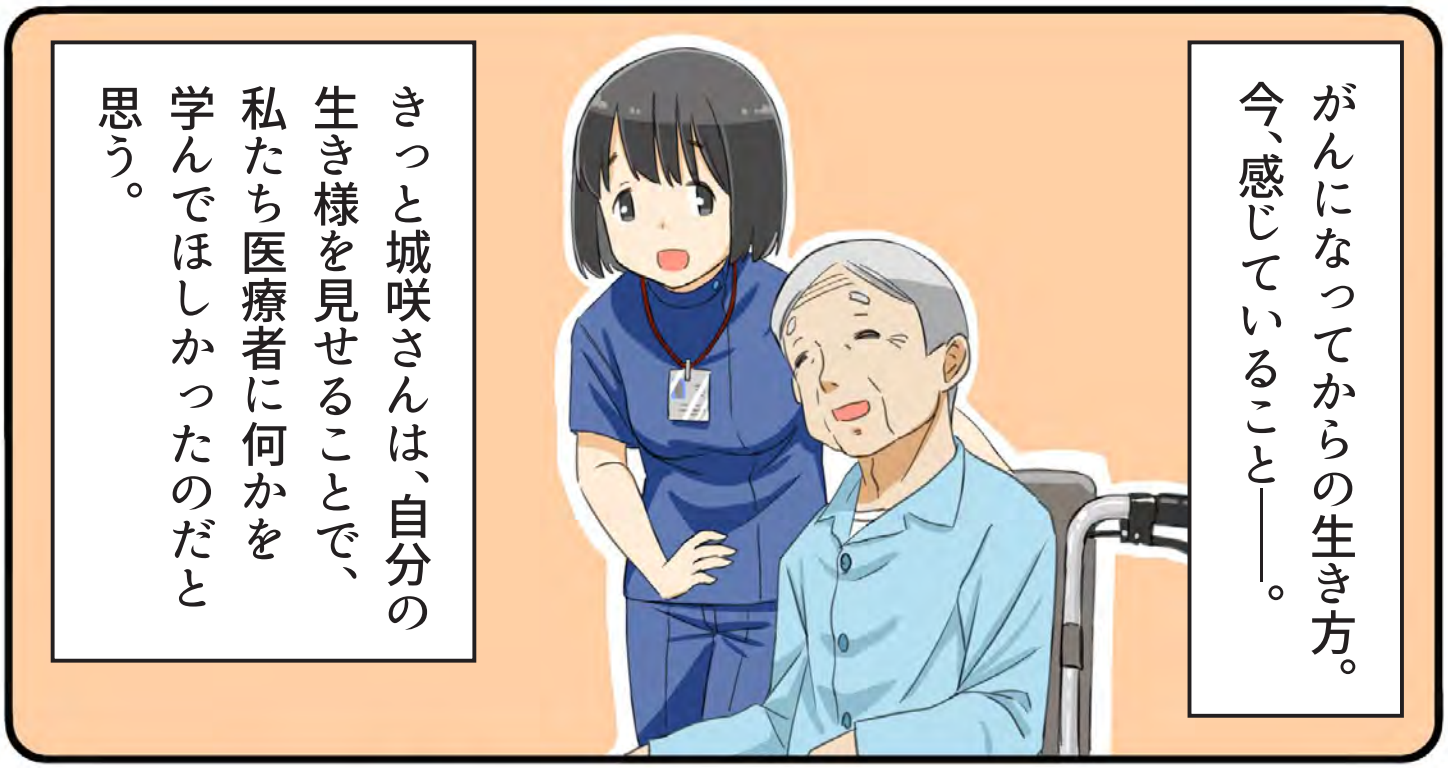

城咲さん、
コン コン

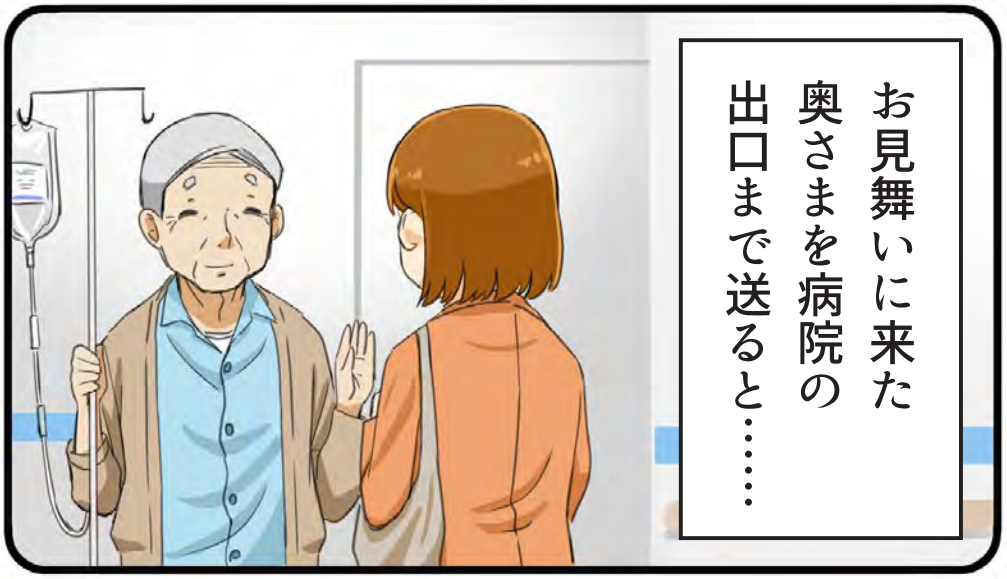

点滴の確認
しますね。

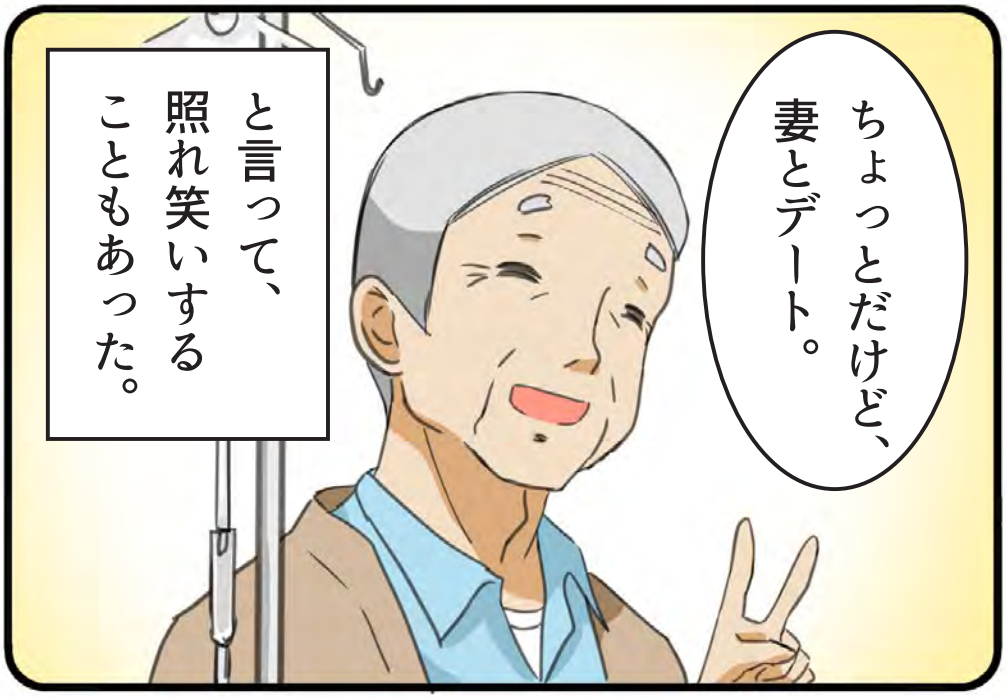

あんなふうに
言わなくたって
いいのにねぇ……。
ほら、あなたいつも、
スリッパそろえて
くれるでしょう？
あっ、聞こえ
ちゃいました？
でもね、あの看護師さん。
あなたのいいところも
ちゃんと見てますよ。
「浜田さんは、
細かいことに気づける
人なんです」って、
うれしそうに
ほめてましたよ。


そうなんですね……。
小さなことに気づく。
人を思いやる。
簡単なようで、
誰にでもできる
わけじゃないんです。

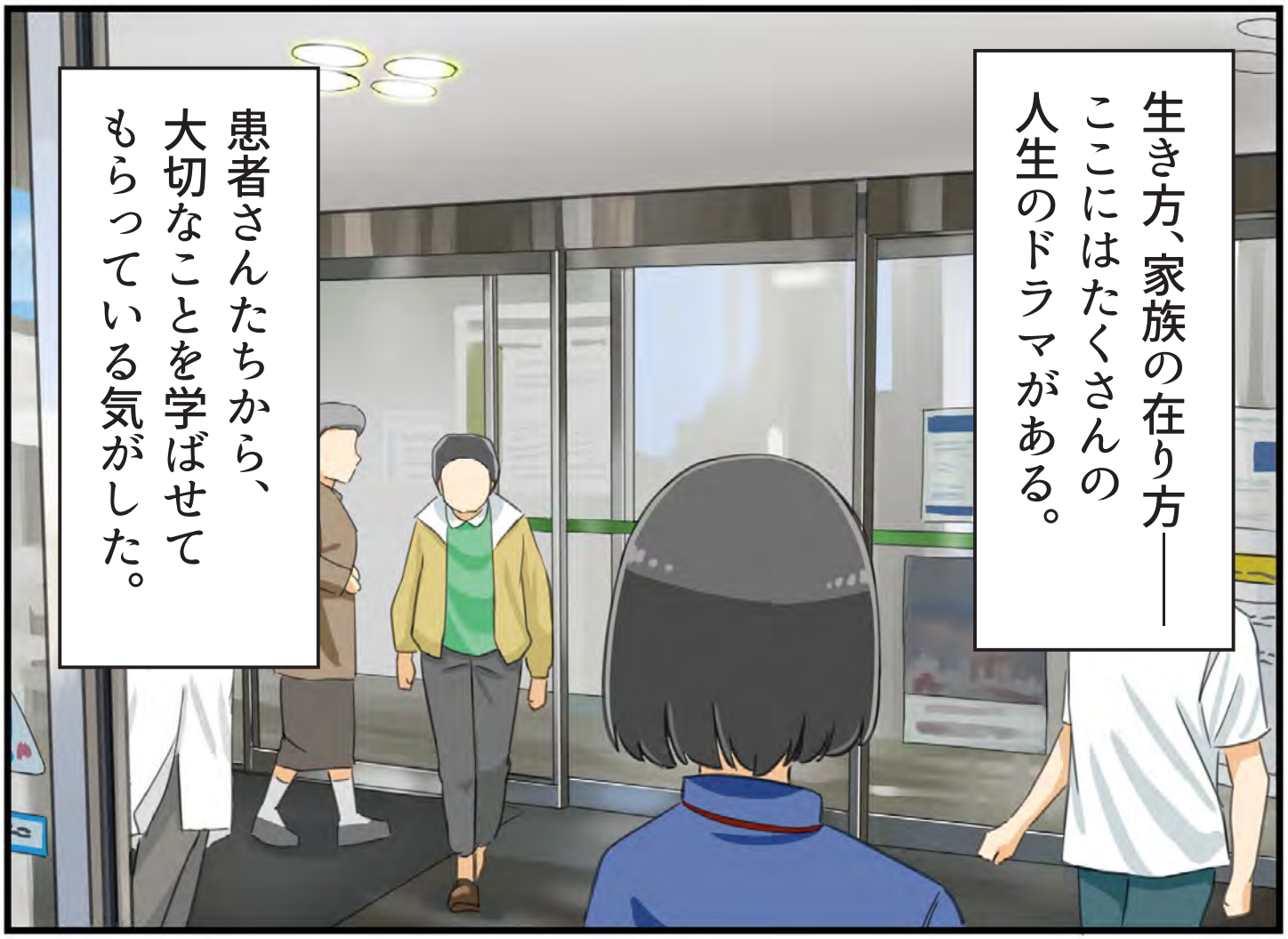

私も
病気になって、
初めて「日常の
小さなこと」の
大切さに気づきました。
城咲さんの状態は
あまり良くなかったが、
病室を訪れるたびに
いろいろな話をしてくれた。

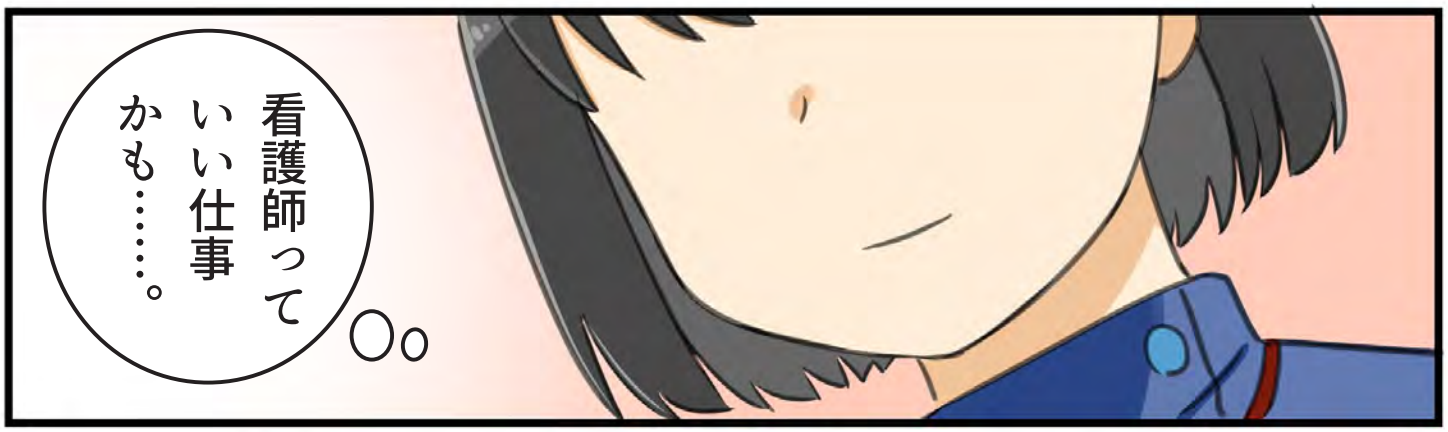

がんになってからの生き方。
今、感じていること――。
きっと城咲さんは、自分の
生き様を見せることで、
私たち医療者に何かを
学んでほしかったのだと
思う。

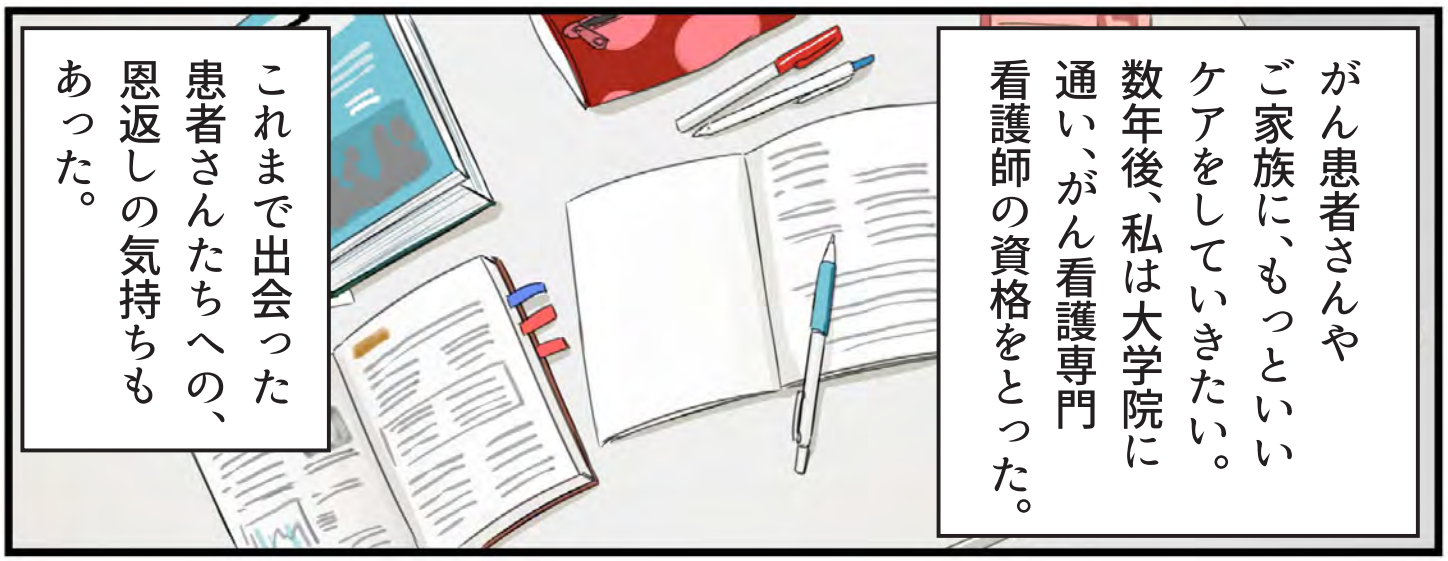

お見舞いに来た
奥さまを病院の
出口まで送ると……

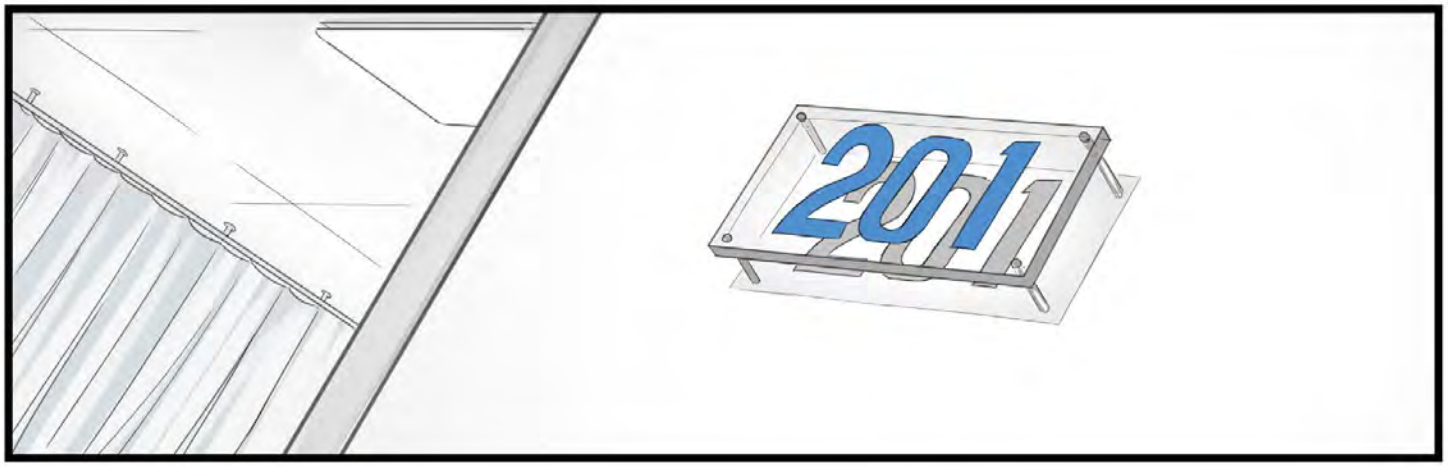

ちょっとだけど、
妻とデート。
と言って、
照れ笑いする
こともあった。


素敵
だなぁ……。


生き方、家族の在り方——
ここにはたくさんの
人生のドラマがある。
患者さんたちから、
大切なことを学ばせて
もらっている気がした。


看護師って
いい仕事
かも……。

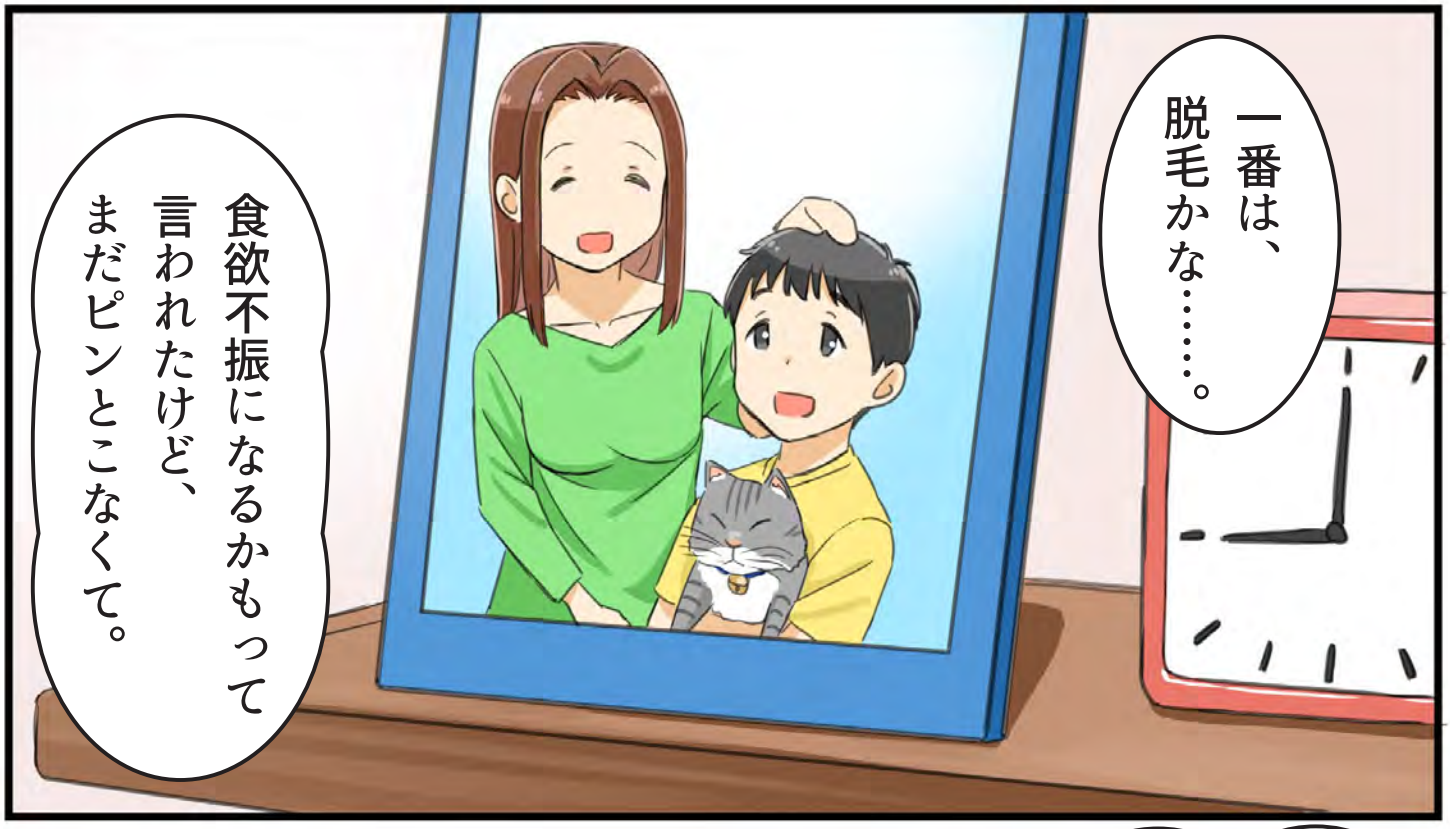

がん患者さんや
ご家族に、もっといい
ケアをしていきたい。
数年後、私は大学院に
通い、がん看護専門
看護師の資格をとった。
これまで出会った
患者さんたちへの、
恩返しの気持ちも
あった。


201

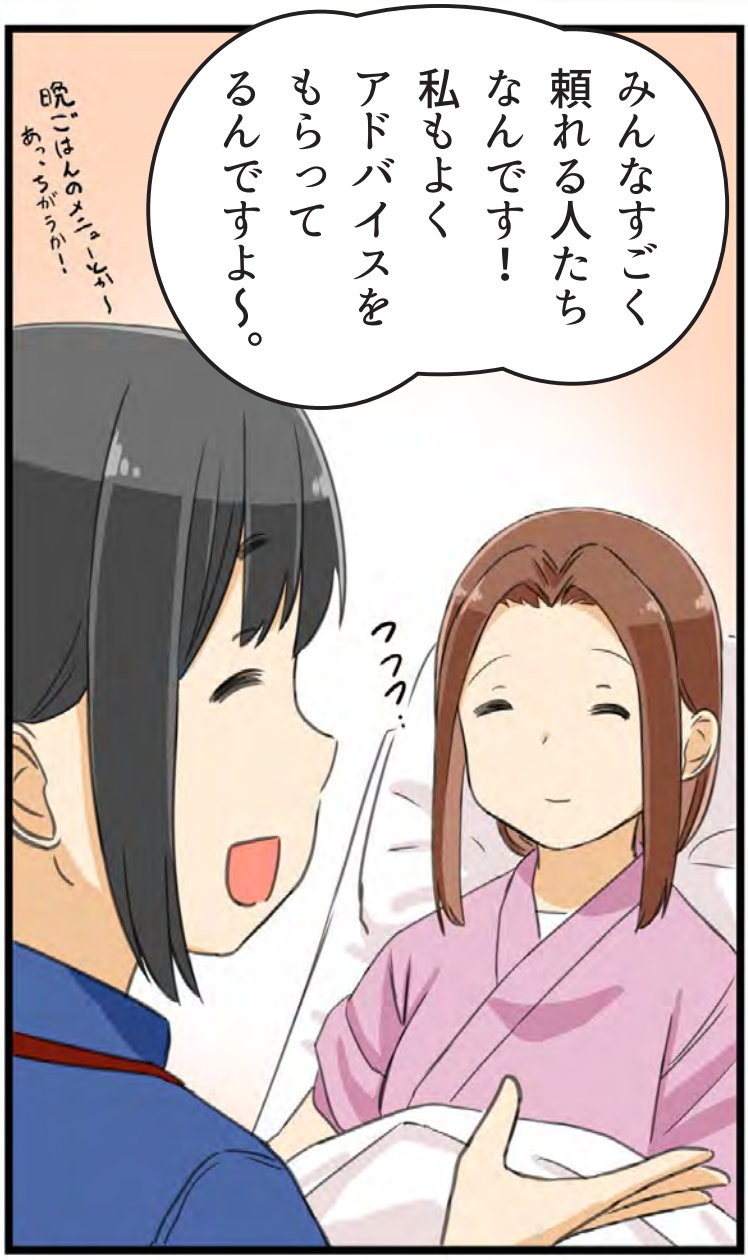

大学院での勉強は、
本当に大変だったけど……。
樋口さん、
こんにちは！
患者さんの人生に、
より深く関われる
ようになったと思う。

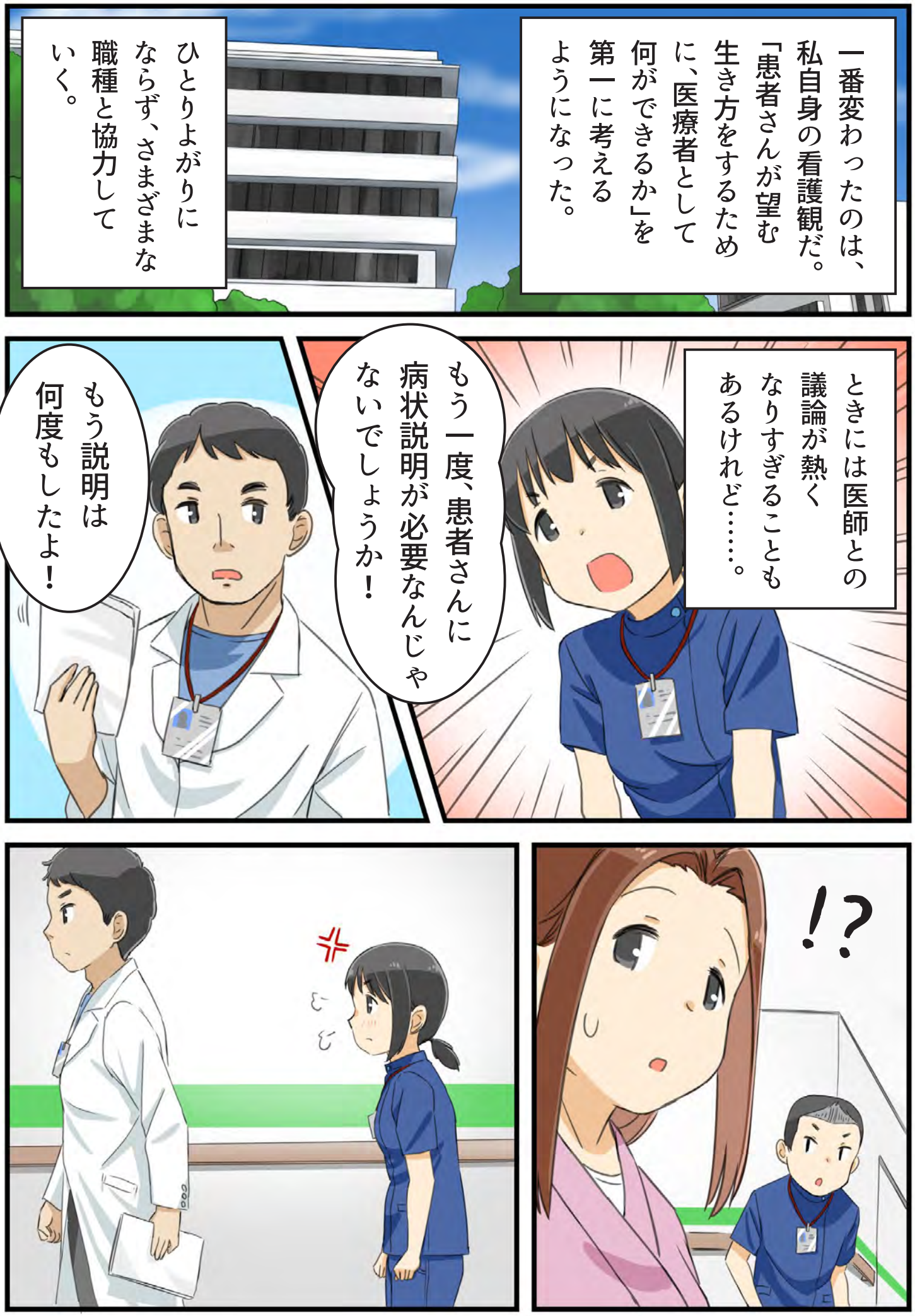

浜田さん。

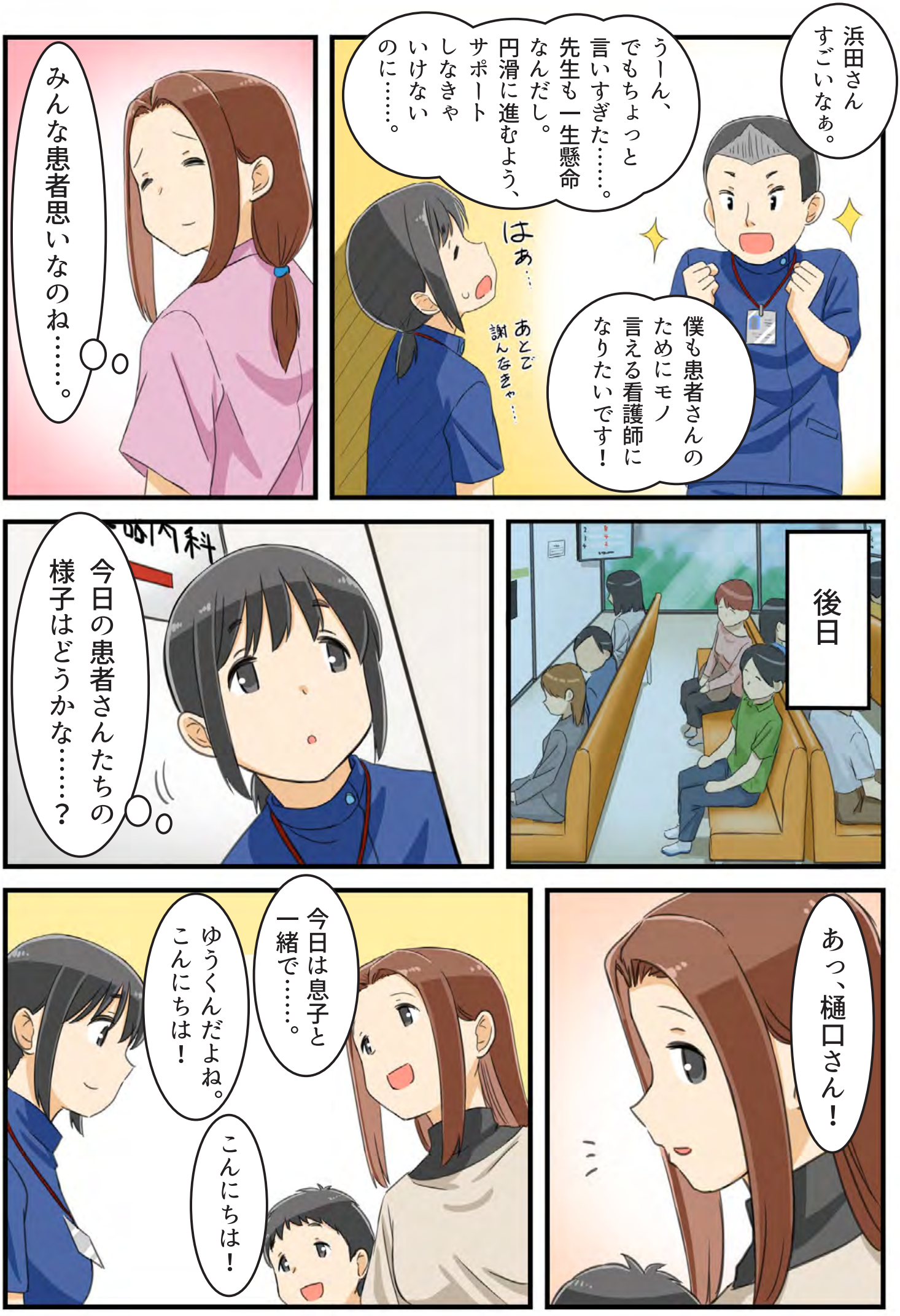

今度お薬を
変えることに
なって……。
心配になりますよね。
今はどんなことが
気になってます？


一番は、
脱毛かな……。
食欲不振になるかもって
言われたけど、
まだピンとこなくて。

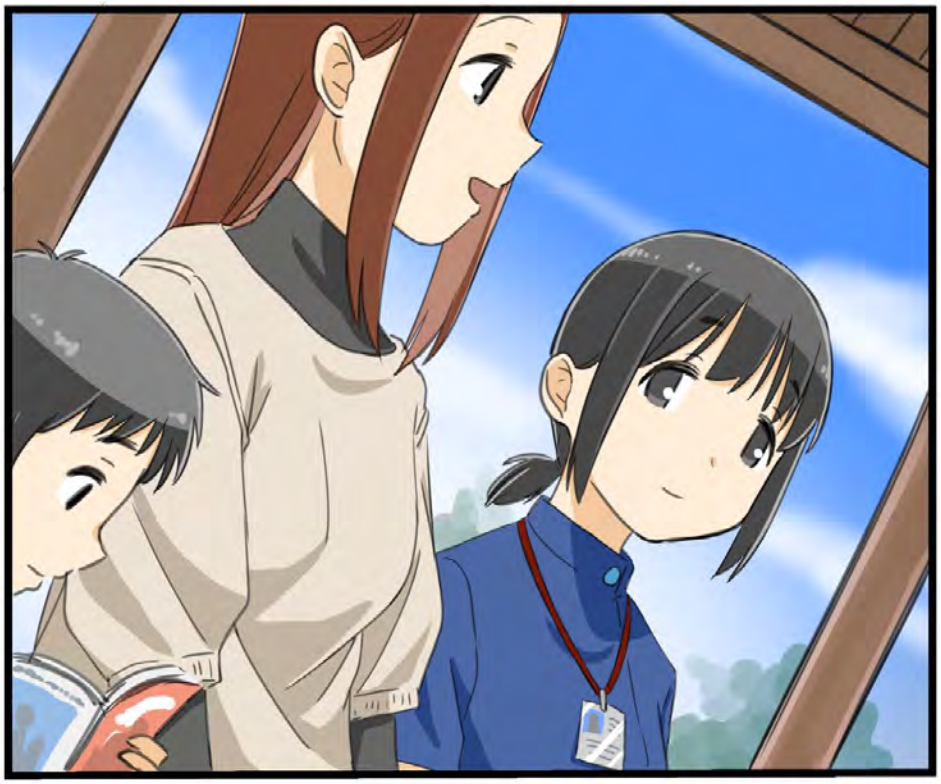

そうですよね。
私に相談して
いただいても
いいですし、
病院には
いろんな専門家が
いるので、
話してみると
安心できるかも
しれません。
外見ケアとか
栄養士とか


みんなすごく
頼れる人たち
なんです！
私もよく
アドバイスを
もらって
るんですよ～。
ううう…
晩ごはんのメニューかぁ～
あっちがうかぁ！


一番変わったのは、私自身の看護観だ。「患者さんが望む生き方をするために、医療者として何ができるか」を第一に考えるようになった。
ひとりよがりにならず、さまざまな職種と協力していく。
ときには医師との議論が熱くなりすぎることもあるけれど……。
もう一度、患者さんに病状説明が必要なんじゃないでしょうか！
もう説明は何度もしたよ！
!?


浜田さん
すごいなぁ。
僕も患者さんのために
モノ言える看護師に
なりたいです！
うーん、
でもちょっと
言いすぎた……。
先生も一生懸命
なんだし。
円滑に進むよう、
サポート
しなきゃ
いけない
のに……。
はぁ…
あとで
謝んなきゃ…
みんな患者思いなのね……。
後日
今日の患者さんたちの
様子はどうかな……？
あっ、樋口さん！
今日は息子と
一緒で……。
ゆうくんだよね。
こんにちは！
こんにちは！

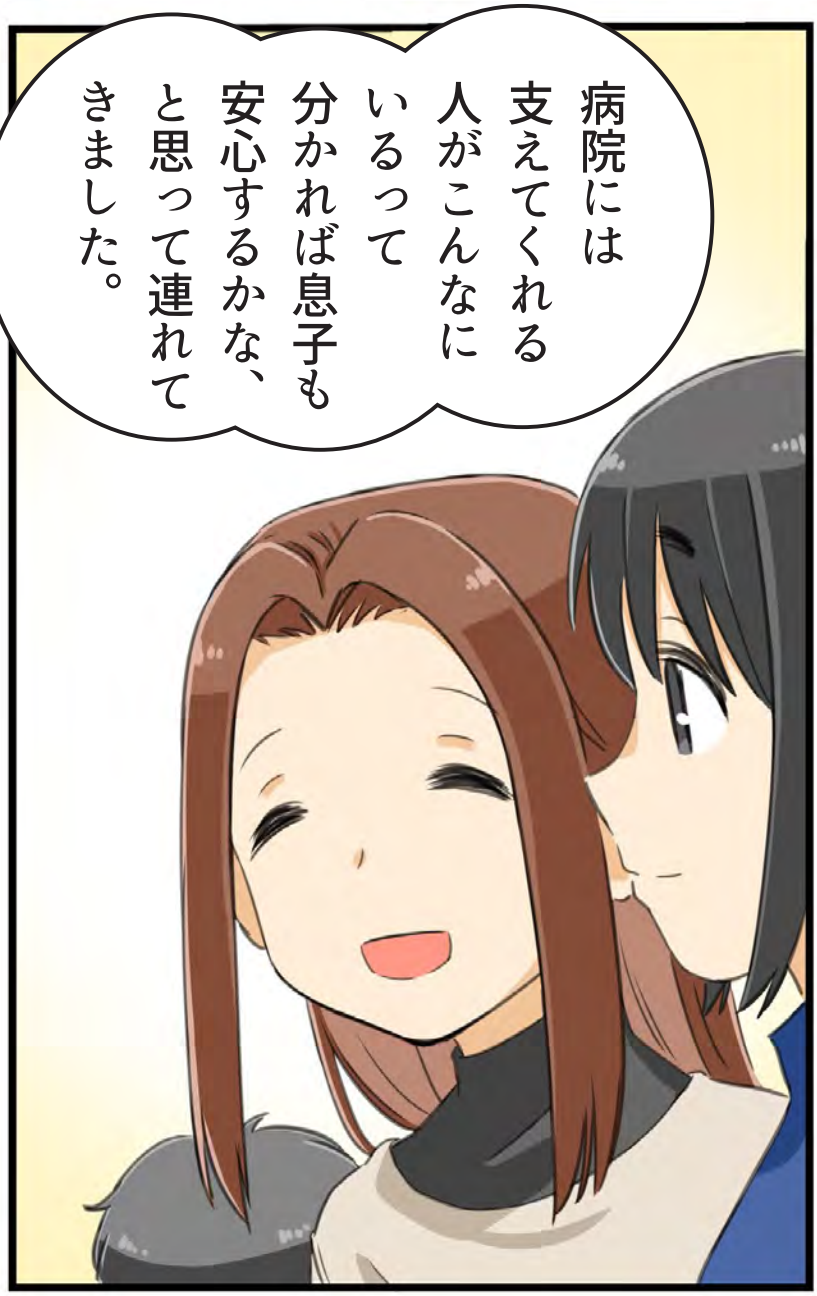
今日、
浜田さんにも
会えると
いいなと
思ってました。

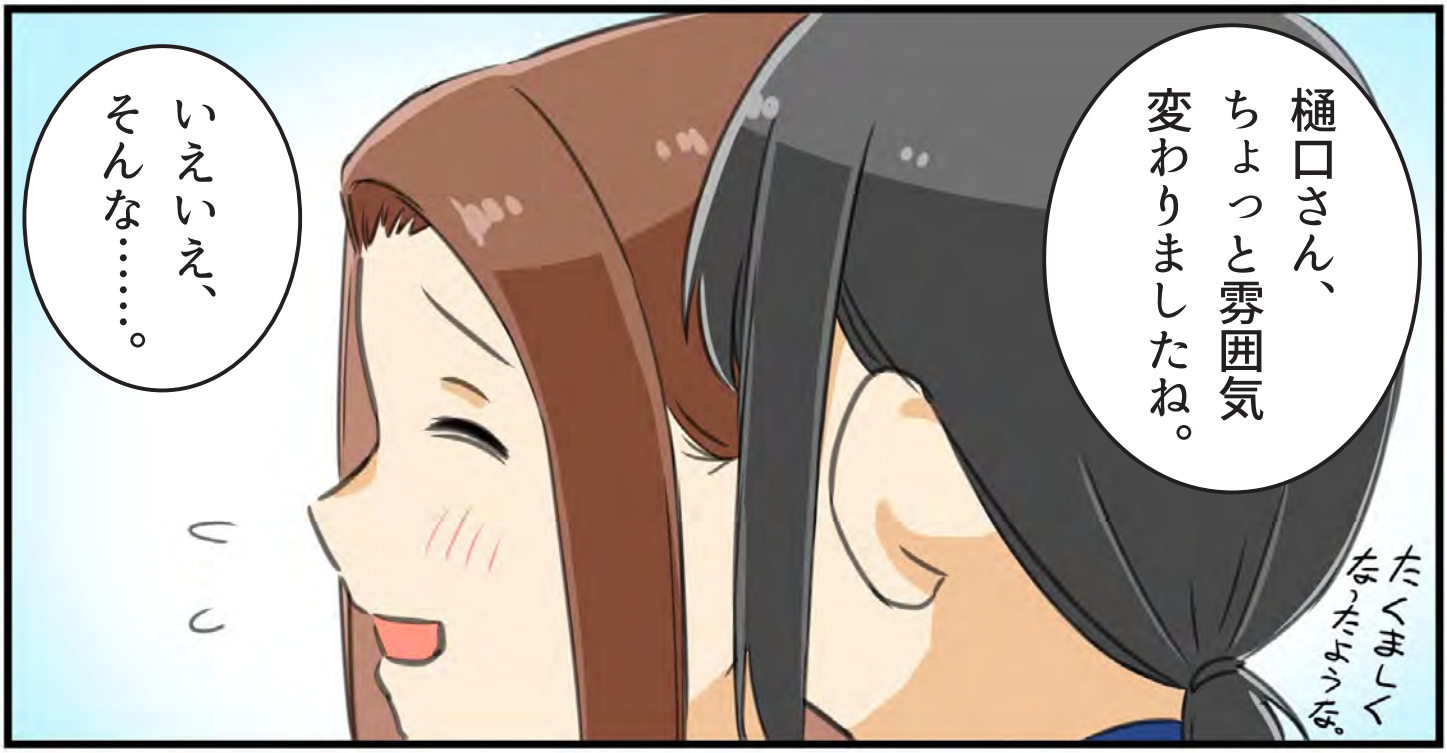


この前、息子に病気のことを話したんです。
きちんと伝えるために、
自分でもがんのことを
勉強して……。

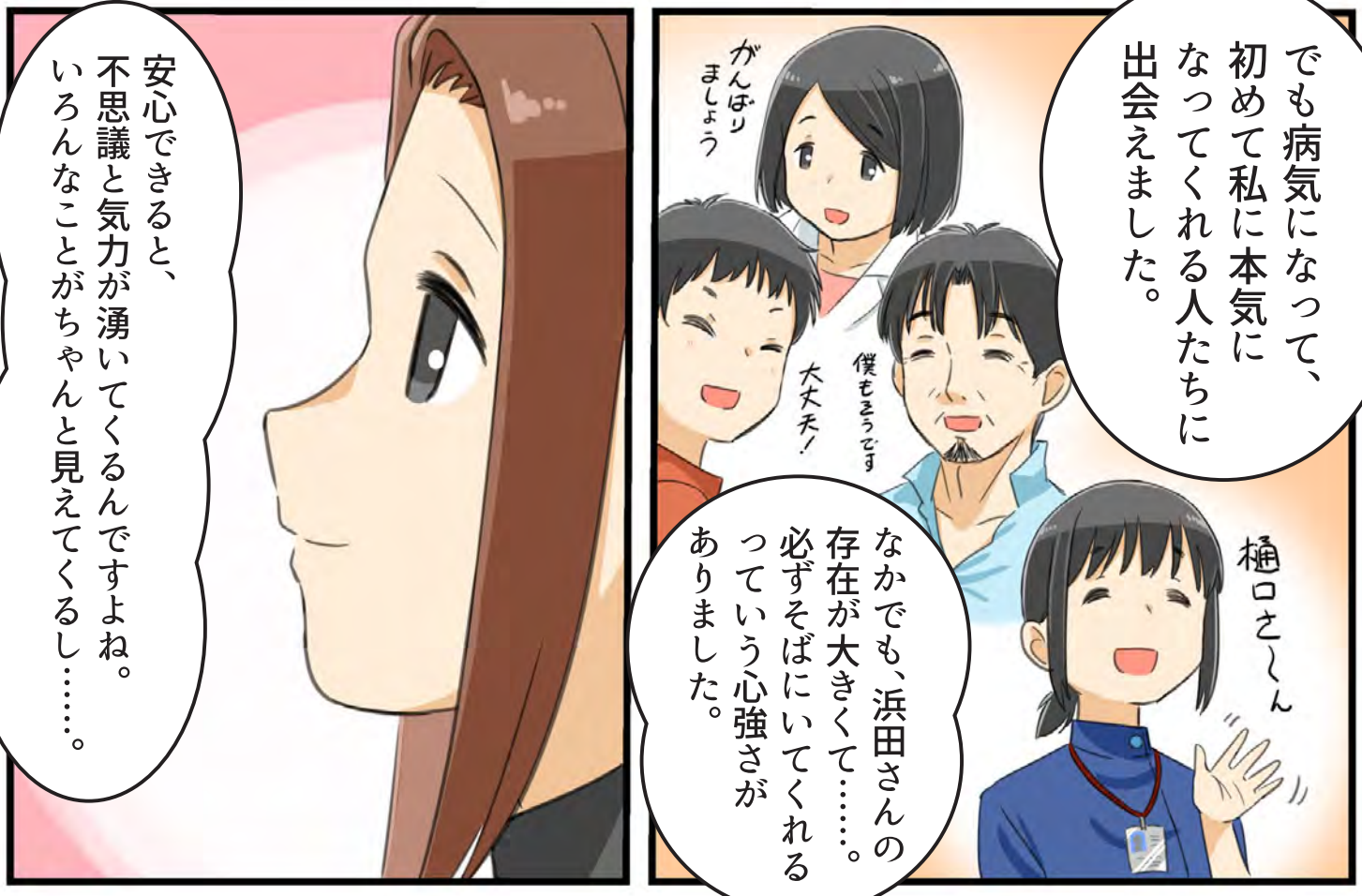


病院には
支えてくれる
人がこんなに
いるって
分かれば息子も
安心するかな、
と思って連れて
きました。




樋口さん、
ちょっと雰囲気
変わりましたね。
いえいえ、
そんな……。
たくましくなったような。


実は私、
人に頼る
ことが苦手
だったんです。


でも病気になって、
初めて私に本気に
なってくれる人たちに
出会えました。
がんばりましょう
僕もそうです
大丈夫！
樋口さ～ん
なかでも、浜田さんの
存在が大きくて……。
必ずそばにいてくれる
っていう心強さが
ありました。
安心できると、
不思議と気力が湧いてくるんですよね。
いろんなことがちゃんと見えてくるし……。


治療のことも、家族のことも、
しっかりと考えられるように
なった気がするんです。


「浜田さんがいてくれてよかった」って、
いつか言おうって思ってました。


医療においての主人公は患者だ。
やっぱり気持ちが落ちちゃうことも多いけど……。
私たち看護師は、患者さんの声なき声を形にできるよう手助けする、言わば代弁者だ。
大丈夫。これからもいつでも頼ってくださいね！

今もこれからも、
患者さんの一番近くにいて、
一番の味方になりたい。



その人の生き方を
支えていける存在で
ありたいと思う。

制作　アムジェン株式会社
制作年月　2025 年 12 月
資材番号　CA250015OT1

マンガ動画の裏側（ウラガワ）

『白衣の向こうの物語 ～がん看護専門看護師～』のモデルとなった

看護師 浜谷 千枝子さん＆ 奥出 有香子さん 対談インタビュー



マンガに登場する「がん看護専門看護師」は、がんに特化した看護のスペシャリスト。現在、その第一線で活躍する浜谷さんと奥出さんですが、そこに至るまでにはたくさんの患者さんとの関わりがあり、想いと苦労がありました。

患者の優しい言葉に涙

――看護師になろうと思ったきっかけを教えてください。

奥出：子供のころ虫垂炎（盲腸）で入院し、看護師から優しく手厚いケアを受けたことがきっかけです。その後、看護の実習で、初めて病院での「看取り」を経験しました。

ドラマとは違う看取りの現実を目の当たりにして大きな衝撃を受けました。

浜谷：思春期のころは自分を好きになれずにいました。「人の役に立つ仕事に就くことで優しい人になれたり、自分自身を認められるようになるかも」という思いがありました。

看護学生時代、ある白血病患者さんと出会ったのですが、その方は自分の生き様を伝えることで、学生に何かを学んでもらいたいという強い思いがありました。病室に行くたび、がんになってからの気持ちなどを話してくれたんです。その出会いで「看護師という仕事をまっとうしていかなければ」という気持ちが芽生えました。

――患者さんの影響で、看護師さんが成長することがあるのですね。

浜谷：新人として働き始めたころ、



奥出 有香子さん
順天堂大学医学部附属練馬病院
がん治療センター 看護師長



浜谷 千枝子さん
社会医療法人財団 白十字会
白十字病院 看護部



採血で2回くらい失敗してしまったんです。患者さんの負担を考えて先輩と交代しようとしたとき「ダメよ。もう1回やっていいから」と、自ら腕を出してくれたことがありました。

奥出：新人看護師は育てなきゃいかん、みたいな感じですよね。先輩からきびしく指導を受けた私に「大丈夫？」と優しい言葉をかけてくれて、涙がホロホロとこぼれそうになったこともあります。こう言っては何ですが、お父さんやお母さんのように見守ってくれていたように思います。

「患者さんの代弁者」として

――「看護師は患者の代弁者」という言葉がありますが、患者さんとどのように関わっているのでしょうか。

浜谷：悪い知らせを受けた患者さんは、医師に何かを聞きたくても、言葉が出てこないこともあります。そんなときは一緒に診察室に入り、「今は、頭が真っ白ですよね」などの声がけをしたりします。

奥出：そうそう。気持ちを言葉にするための呼び水のようなものですね。すると患者さんも「そうなんです。何を言ったらいいのか分からなくて」と、感情を表に出してくれます。それ以降、どんどん言葉が出てくる、ということもあります。

浜谷：患者さんの様子によっては、医師と相談したうえで「答えを急がなくていい」と伝えます。代弁者といっても患者さんが自分で納得して決めることが大切。私たち看護師は、そのためのお手伝いをさせて欲しいと思っています。

――患者さんのために、医師に「物申す！」なんてこともあるのでしょうか。

浜谷：患者さんの気持ちをないがしろにされているかも、というときに戦うこともあります。医師との信頼関係も大切ですし、最後の最後は、という感じですね。

奥出：バチバチっと火花が散ることもありますね（笑）。医療においての主人公は患者さん。その思いや考えを大事にしたいと思っています。医師の考えと患者さんの希望にズレがあると感じたときは、「患者さんにどんな選択肢があるかを説明して、本当はどうしたいかを聞いてみませんか」とうながすなどしています。

患者さんたちに見せてもらったのは「人生のドラマ」

――がん看護専門看護師になったきっかけを教えてください。

奥出：私は、がん患者さんやご家族と接するなかでさまざまな人生のドラマを見させてもらい、大切なことをたくさん教えてもらったんです。その恩返しとして、もっと勉強して、もっといいケアを提供していきたいと思いました。

浜谷：私も、関わった患者さんの多くががんの方だったことが一番大きいですね。がん患者さんやご家族との関わりを通して、もっと学びたいと思いました。

――がん看護専門看護師はどのような場面でケアにあたるのですか。

奥出：がんと診断されたころから、治療中、終末期、そして大切な人を亡くしたときなどのグリーフ（深い悲しみ）の場面までと、幅広いですね。最近では、終末期をどのように過ごしたいのかなどを考えるACP（アドバンス・ケア・プランニング／人生会議）という言葉も知られてきました。がん看護専門看護師は、診断から最期まで横断的に関われるところが醍醐味だと思っています。

浜谷：他の看護師から「担当しているがん患者さんとどうコミュニケーションをとったらいいか分からない」「患者さんとご家族で意見が対立している」などの相談を受けることもありますね。

――がん看護専門看護師になるのは大変と聞いたことがあります。

浜谷：資格を取るには大学院に行く必要がありますが、教えてもらうというより「自分がいかに学ぶ





か」にかかっていたので、本当に苦労しました。

奥出：専門看護師の資格取得を目指すころって、看護師として自分に自信がつき始めた時期なんです。でも、大学院ではその鼻をへし折られる。今までやってきた自信や経験も、すべてガラガラっと崩れ落ちた感覚でした。「あなたの話のエビデンス（科学的根拠）は何？」と問われ、自分がいかに横柄（おうへい）だったかを突きつけられましたね。

浜谷：今まで積み上げてきたものがリセットされたようでした。裏付けがあったうえで自分の考えを述べるという思考のプロセスで、さらにそれを相手に説明できないといけないんです。そのおかげで、患者さんや同僚の気持ちを理解し、自分がどう伝えるかといった、思考力や想像力が鍛えられた気がします。

――専門看護師になる前と後で、患者さんとの関わり方はどう変わりましたか。

奥出：患者さんの全体像を把握して次のアクションにつなげるといったアセスメント能力がつき、患者さんの言動のとらえ方が変わったと思います。

例えば、がんの告知を受けたばかりの患者さんが「なぜもっと早くがんを見つけられなかったんだ！」と怒りだしたとします。以前はただ「不機嫌な方」と感じていたのが、今は「悪いニュースを受けて大きな脅威を感じているから、防衛反応として〝怒り〟という対処行動を取っている」と理解できます。

浜谷：私も、専門看護師の勉強をしていなかったら、相手の気持ちを分かった気になって傲慢な関わり方をしていたかもしれない、と思います。そもそも患者さんの気持ちを100パーセント理解することはできません。でも、分からないからこそ「分かろう」という気持ちで関わるか、分かった気になって関わるのとでは、患者さんからの手応えは違ってきます。

患者さんが持っている強さをどう引き出していくかも考えるようになりました。患者さんには、前向きな気持ちで治療してもらいたい。仕事や趣味と治療の両立とか、希望に合う療養先を探すとか、もっといろいろと欲張ってほしいんです。希望の実現のため、何が必要なのかに気をくばり、必要なら他職種の医療者につないでいければと思っています。

心に残っている言葉は「ありがとう」
――患者さんから言われてうれしかった言葉を教えてください。

浜谷：純粋に、「ありがとう」がうれしかったですね。

奥出：私もです。治療で迷いを抱えていた方が、「あのとき、あなたがいなかったら治療を受けないつもりだった。本当にありがとう」と言ってくれて、胸がいっぱいになりました。

――貴重なお話をありがとうございました。本誌のマンガは、お二人の対談をもとにしています。マンガ動画としても公開中ですので、ぜひご覧ください！

取材・文：木口マリ
作画：れつまる



本誌掲載マンガを「マンガ動画」で見よう！
YouTube

肺がん患者さんに聞いた

看護師さんとの思い出 Episodes

患者さんの心に残る
看護師さんとの
エピソードを紹介します。

※ 2025 年に実施したアンケートの一部を抜粋・編集したものです。

抗がん剤治療で心身ともにつらいとき、**病棟の看護師さんがデイルームに誘ってくれて、不安な気持ちなど聞いてくれました。**話を聞いてもらえることがこんなにうれしいのかと思いました。（みっこ さん）

がん告知後、初めての抗がん剤治療で出会ったのは、**1 年目の新人看護師さん**でした。12 年後、がん再発を機に再会すると、その方は**主任看護師になっていました。自分のことのようにすごくうれしかった**です。（大西幸次 さん）

皆、優しくていい方でしたが、自分の娘よりも若い看護師さんも多く、甘えることができないでいました。あるとき、**私と同年代の看護師さんがそっと声をかけてくれて、**耐えていた感情が緩んでいくのを感じました。**冷たい待合室の廊下に響いた彼女の声が、ただ温かかった**ことを今でも忘れません。（tomo さん）

がん闘病 10 年目を迎えたとき、当初から支えてくれていた**がん性疼痛看護認定看護師さん**が「今ここに居ることが、すごいことなんですよ!」と言ってくれました。**私の存在を肯定してくれたようで、とても心強く、うれしく思いました。**（ようちゃ さん）

治療していたころ、子供が登校できなくなるなどの家庭の問題があり、治療との両立に悩んでいました。そんなとき**呼吸器内科や化学療法室の看護師さんが何度も相談にのってくれて、がん相談支援センターの看護師さんも子供との面談や病院見学をしてくれました。**（風間利佳 さん）

肺がん患者さん・家族の

『わたしのホッとアイテム＃3』

心を穏やかにしてくれるモノ、風景、時間。
あなたを「ホッ」とさせてくれるものは何ですか？
肺がん患者さんやご家族に聞きました！

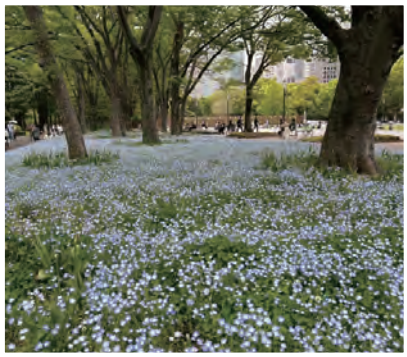
※肺がん BOOK Vol.4、Vol.10 に続いての第3弾です。

おまもり



「じいじ頑張って」と入院する時に折り紙で折ってくれました。
（チャコちゃん さん）

日比谷公園のネモフィラ



今年の春、都会の真ん中で偶然ネモフィラを見かけてびっくり！癒されました。
（あこ さん）

最南端の波照間ブルー



到達するのに難易度が高いんですが、この色は唯一無二。普通に泳げて、海亀にも遭遇できます。
（まぎー さん）

愛しの相棒☆



今年の母の日、娘にお願いしてプレゼントしてもらいました。いつも一緒！抗がん剤治療の時も一緒！大切に育てています♪
（ようちゃ さん）

マイホスピタルバッグ



いつも通院は色々と憂鬱。だから毎回お気に入りのバッジが沢山付いた専用バッグで気分上々。
（おーしまん さん）

庭先のシャインマスカット



家庭菜園の作物は心を癒してくれます。手のかかるシャインマスカットはまた格別です。
（あっくん さん）

◀◀◀裏表紙にも掲載中。ぜひご覧ください！

母のりんご



母が生前、ハガキにサラッと描いて送ってくれた赤いりんご。私にとっては母のなごり。

（ルーシー さん）

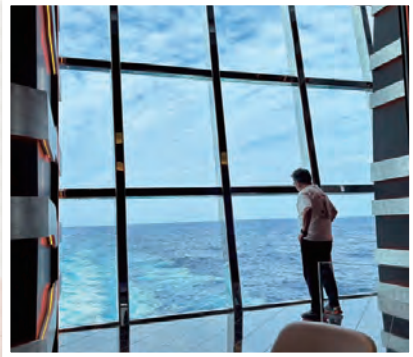
今年も



いつものウォーキングコース

（エンチン さん）

海よ、俺の海よ ♫♪



元気でいる限り、毎年でも何回でも乗船していたい。

（スノゴリ さん）

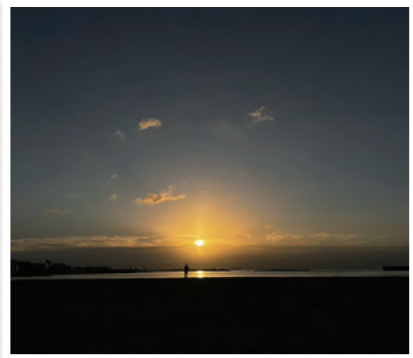
都会の小さな避暑地



コンクリートの壁。スズメがちょこんと涼をとる姿は、可笑しくてたくましい。ホッとする時間は何気ない場所に隠れているのかも。

（はせ さん）

私のヨガスタジオ



朝日を浴びながら海岸でヨガをすると、心も身体も目覚めます♪犬の散歩、ランニング、いろんな人の癒しスポットです。

（えみ さん）

見守る「青春ポスト」



「夢を投函して下さい。耳を澄まして見守ります。」ここは『耳をすませば』のモデルの街。叶ったらまたポストに投函して…と。

（ミキ さん）

お気に入りのカップで ほっと一息



娘が覚えたばかりのひらがなで書いてくれた絵。とても嬉しくてコップにしました。いつもそばに。

（のり さん）

潮風が運ぶ、未来へのエール



がんと共に生きる今、青い空と海に癒されています。一人じゃない、焦らず一緒に進みましょう。

（のぶちゃん さん）

あなたに必要な情報をお届け。

AstraZeneca

肺がんと診断された方、治療中の方、
ご家族の方など閲覧する方に
寄り添った情報をまとめております。
知りたい情報や現在のあなたの状態を
選ぶだけで必要な情報にスムーズに
たどり着くことができます。



アストラゼネカの肺がん情報サイト

肺がんとともに生きる

www.haigan-tomoni.jp

肺がんとともに生きる

フェイスブックでも「肺がんとともに生きる」皆様と
ご家族の方に情報を発信しています。

アストラゼネカ株式会社
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

Daiichi-Sankyo 第一三共株式会社





Life forward

かけがえのない日常のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業として、約140年にわたり人と動物の健康に取り組んできました。これまで多様な分野で培った経験やパートナーシップを生かし、未来を見据えて研究開発に注力しています。

詳細はこちらをご覧ください
boehringer-ingelheim.com/jp/

Boehringer Ingelheim


CURIOSITY
発見はいつも
好奇心から。
メルクバイオファーマ株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台一丁目3番1号
www.merckgroup.com/jp-ja
MERCK


オンコロ かんと・ひとを・つなぐ
知る・つながる・経験 を 届けます！
がん情報サイト「オンコロ」の３つのサービスをご紹介
オンコロ
1 オンコロ LINE公式アカウント
LINE上でご登録したがんの最新情報をお届けします。
がんの最新ニュース
セミナー動画
治験情報
インタビューやアンケート
▼ 友だち追加はこちら ▼
LINE
2 オンコロのLINE オープンチャット
がん患者さん・ご家族の方向けの匿名の交流の場としてオープン！
同じ経験をした人の話が聞けて安心できた
気持ちを共有できる場所がほしかった
がん種別の専用チャットもご用意
非小細胞肺がん
小細胞肺がん
など
▼ 参加はこちら ▼
3 皆さまのがん経験を記事にしませんか？
がんのご経験のお話を募集しています。あなたの声を届けませんか？
オンラインインタビュー（約30分）でお話をお伺いします。
●オンコロに体験談記事としてアップ！
●謝礼として、Amazonギフトカード500円分を進呈
▼ ご応募はこちら ▼
がんに関する情報やつながりを、オンコロがご提供します。
がん情報サイト「オンコロ」（運営：3Hメディソリューション）



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781 年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、
事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

Takeda



Lilly
A MEDICINE COMPANY

日本イーライリリーは製薬会社として
人々が健康で、より豊かな生活を送れるよう
がん、糖尿病、自己免疫疾患、
アルツハイマー病などの中枢神経系疾患を含む
幅広い領域で革新的な医薬品を提供し
日本の医療に貢献しています。

日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通 5-1-28
https://www.lilly.com/jp/

私たちは、
ジェネリック医薬品を通じて、
国民医療に貢献します。



私たち第一三共エスファは、ジェネリック企業として、社員全員が“医療人”としての自覚を持ち、患者さまや医療関係者の皆さまの立場にたって、ジェネリック医薬品を必要とする方が安心して使用できる環境を実現し、国民医療に貢献してまいります。

第一三共エスファ株式会社
Daiichi-Sankyo

〒103-0027　東京都中央区日本橋二丁目13番12号
[お問い合わせ]03-3243-6051(代表)　https://www.daiichisankyo-ep.co.jp



私たちは医療の未来を切り拓き
革新的な医薬品をお届けします

未だ満たされない医療上のニーズを解消する
イノベーションは、患者さんの人生に変革をもたらします。
その信念のもと、私たちは、患者さんから学び、
科学の力をもって、未来の医薬品の可能性を切り拓いていきます。



ヤンセンファーマ株式会社
jnj.com/innovativemedicine/japan/

Johnson&Johnson

AstraZeneca



がん患者さんやそのご家族の体験談、自分に最適ながん治療にたどり着くための情報を紹介しています。

「がんになっても」と検索、もしくは下記URLからアクセスしてください

がんになっても

https://www.az-oncology.jp

アストラゼネカ株式会社
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号

AMGEN



To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。
バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。
今日、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。
日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患、希少疾患をはじめとするアンメット・メディカル・ニーズが高い領域に重点を置き、
臨床開発から販売までの活動を行っています。

アムジェン株式会社の
詳細につきましては
こちらをご覧ください

2024年7月 CA240050SH1

肺がんは喫煙をはじめとしてさまざまな原因で発症します。
その中のひとつに、アスベスト（石綿）を吸ってしまったことが影響して発症してしまうことがあります。建設業、造船業、自動車整備業など少しでもホコリっぽい現場でお仕事をしていませんでしたか？

肺がんの原因をタバコだと決め付けていませんか？
喫煙者がアスベストを吸うとリスクが約50倍になります。

アスベスト肺がん無料相談

実施中！



どんなことでも！
いつでも！

メール・LINEからも無料相談が可能です！

アスベストが原因の肺がんの場合は、次のような制度から給付等を受けられる可能性があります。

労災保険制度

お仕事が原因で病気になった場合に、医療費や通院交通費、休業のための補償などが支給される制度です。わずかでも雇われていたお仕事の関係でアスベストを吸った可能性がある方は認定される可能性があります。

石綿救済制度

お仕事以外の原因やアスベストを吸った記憶が全くない方で、一定のアスベスト所見がみられる場合に、医療費や療養手当などが支給される制度です。事業主など、一度も人に雇われてお仕事をしたことがない方も対象となります。

建設アスベスト給付金制度

建設現場で働き、肺がんなどアスベストが原因の病気になった場合に給付金が支給される制度です。支給には、業務の内容やアスベストを吸った時期などの要件があります。建材メーカーなどへ補償を求めることも検討してください。

会社や建材メーカーからの補償

労災などでは損害の一部しか補償されません。アスベストユニオンなどの労働組合に加入して働いていた会社と団体交渉を通じて補償に関して話し合うこともできます。また、裁判等を通じて会社や国、建材メーカーに対して補償を求めることができます。

・タバコを吸っていたかどうか（喫煙歴）は受給の有無に関係ありません。※建設アスベスト給付金は喫煙の有無によって受給金額が減額されます。
・医師から、「アスベストとは関係がない」「不明」と言われても受給できる可能性があります。・遺族の方も期限を問わず、受給できる可能性があります。

VOICE 01

原因はタバコだと言われて、自分たちは関係ないと思っていました。



※写真はイメージです

夫は地域でも肺がんの治療で有名な病院で診断され、治療をしていました。仕事が建設業でもあったことから主治医に、「アスベストは肺がんの発症に関係ありませんか？」と聞きましたが、「関係ありません」と言われてあきらめていました。その後、患者団体の電話相談で労災請求を勧められ、支援を受け、労災認定されました。建設アスベスト給付金の認定もされ、生活が助かっています。

北海道　Sさん

＼ 24時間365日受付！ 些細なことでも、いつでもご遠慮なくお聞かせください。／

中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会
〒136-0071 江東区亀戸7-10-1 Zビル5F
0120 117 554

肺がん患者さん・家族の

「わたしのホッとアイテム＃3」



すごろくのコマと指輪

娘からのプレゼントです。指輪は私の持っているアクセの中で最も価値のあるものです（笑）。
（お茶 さん）



虹

夕方まで降っていた雨が止んだので、東の空を見上げたら、虹が出ていました。（さとちゃん さん）



ホッとする景色

晴れても曇りでも、
旅心をかき立ててくれる場所です。
（さりぃ さん）

『わたしのホッとアイテム＃3』続きは本誌 43 ページで！

11月は肺がん啓発月間です

これからも、応援をよろしくお願いいたします！

本誌「肺がん BOOK」は、皆さまからのご寄付と企業の広告協賛によって刊行しております。



ふるさと納税
よこはま夢ファンドも
よろしくね！

申し込み方法

ご寄付はこちらから

● 銀行振込

振込先口座 横浜銀行 保土ヶ谷支店 普通 6112286
トクヒ）ハイガンカンジャノカイワンステップ

● クレジットカード
● ソフトバンクの携帯電話料金のお支払いとご一緒に

ウェブサイト
https://www.lung-onestep.com/blank-88

肺がん患者が作る！トコトン患者応援マガジン 肺がんBOOK
Vol.11 2026年10月発行
発行元 特定非営利活動法人 肺がん患者の会 ワンステップ 理事長 長谷川一男／日本肺がん患者連絡会
HP https://www.lung-onestep.com E-mail onestep.office2019@gmail.com
後援 特定非営利活動法人 日本肺癌学会
STAFF 編集人 木口マリ デザイン 瀬井信作・山崎かおる（コンポーズ）
編集 米澤晴美 校正 平野麻美 表紙デザイン 三木美澄